

木材需給動向について (近畿中国地区)

令和 7 年 1 月

林野庁

目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ スギ（近畿中国地区）

ウ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国・近畿中国地区）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

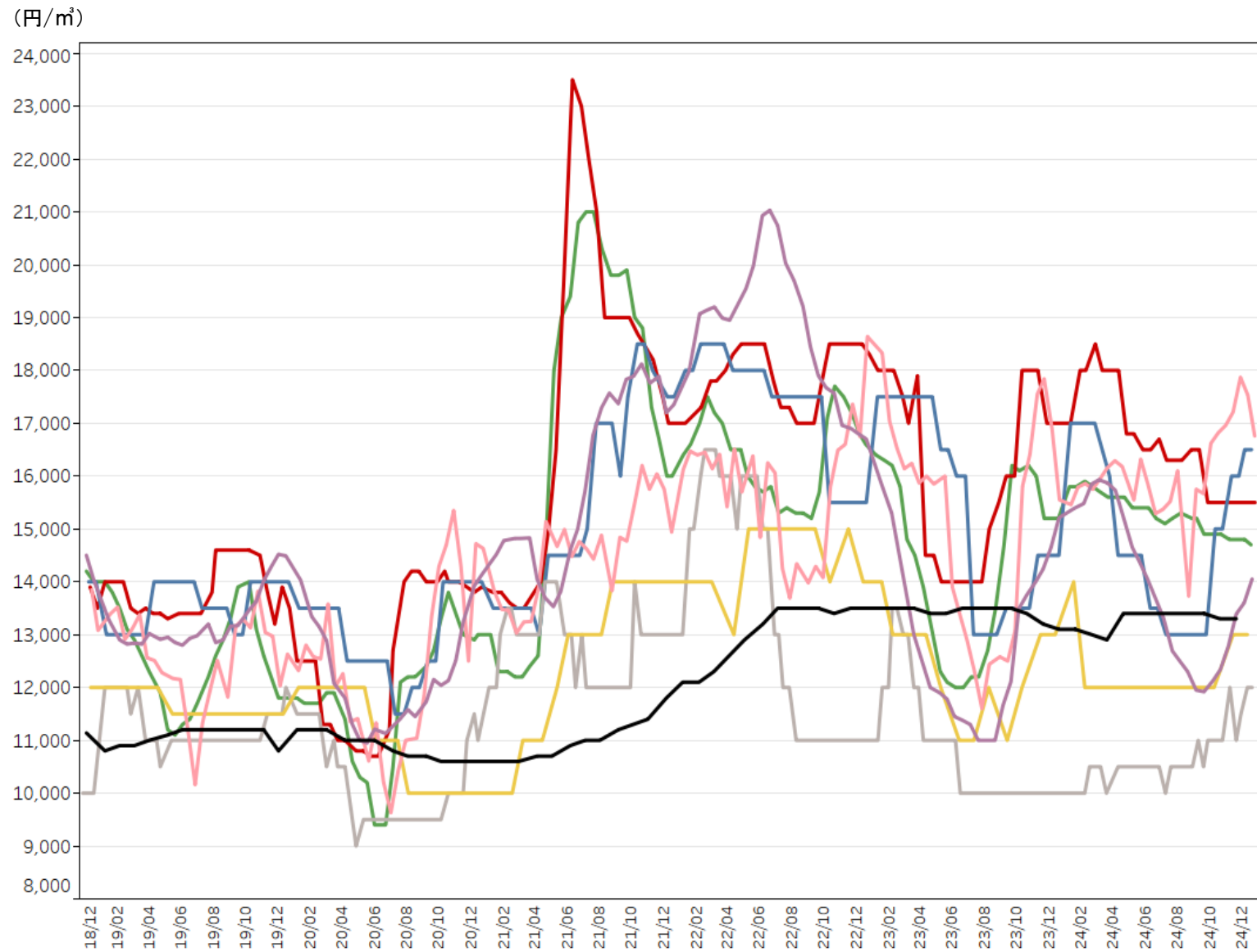
(1) 全国の住宅着工戸数

(2) 近畿中国地区の住宅着工戸数

4 木材輸出額

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~16,760円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,300	13,200	101%
秋田県	14,050	15,210	92%
栃木県	16,760	15,550	108%
長野県	13,000	13,000	100%
岡山県	12,000	10,000	120%
高知県	16,500	14,500	114%
熊本県	15,500	17,000	91%
宮崎県	14,700	15,200	97%

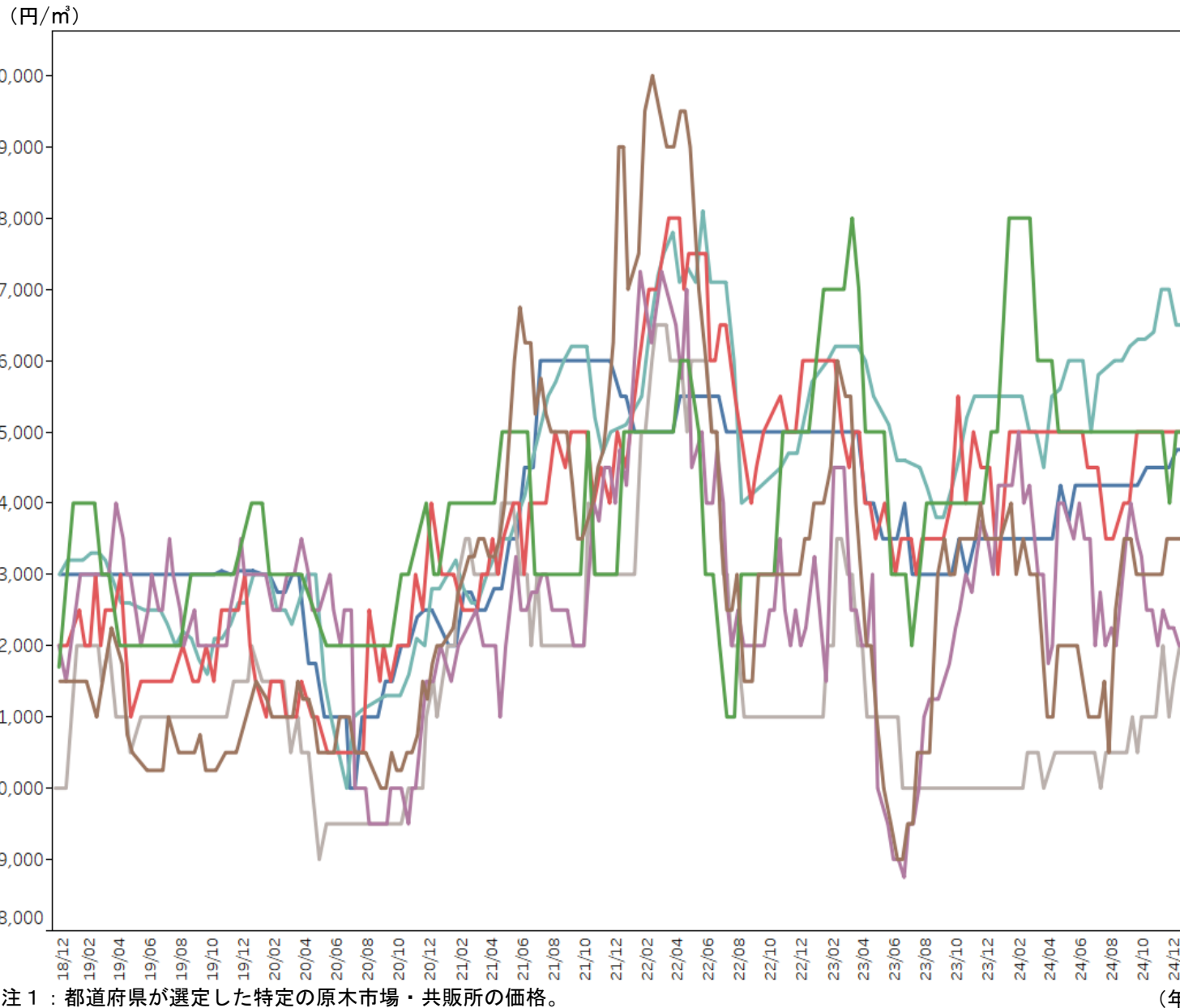
※北海道については11月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については12月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ スギ（近畿中国地区） 径24cm程度、3.65～4.0m（2018年12月～）

- 近畿中国地区の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,500円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2024 直近※	前年 同期	前年 同期比
兵庫県	13,500	13,500	100%
和歌山県	15,000	15,000	100%
鳥取県	12,000	14,250	84%
島根県	15,000	13,000	115%
岡山県	12,000	10,000	120%
広島県	16,500	15,500	106%
山口県	14,750	13,500	109%

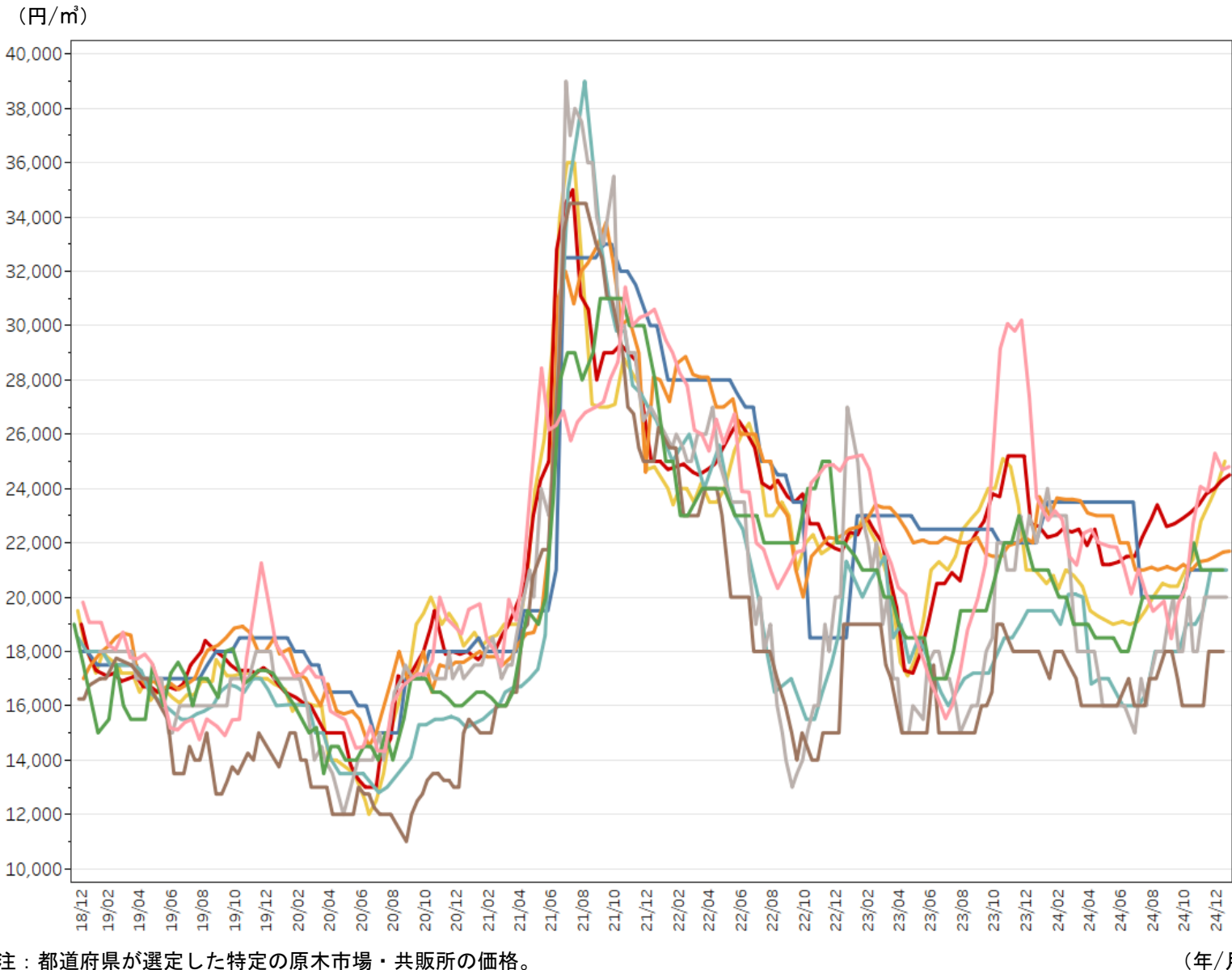
※各県12月の値を使用。

注1：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

ウ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～25,000円/㎡となっている。



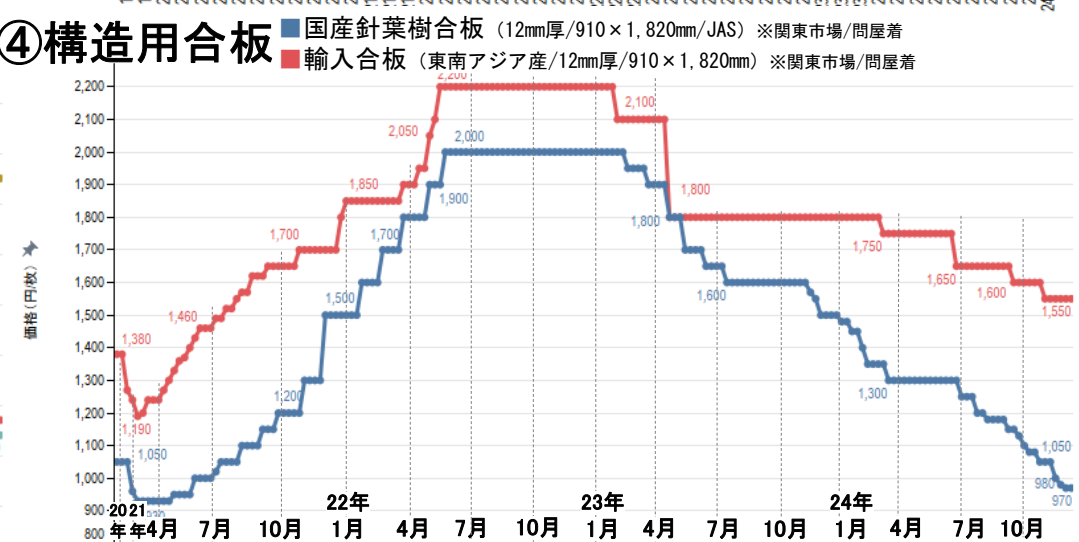
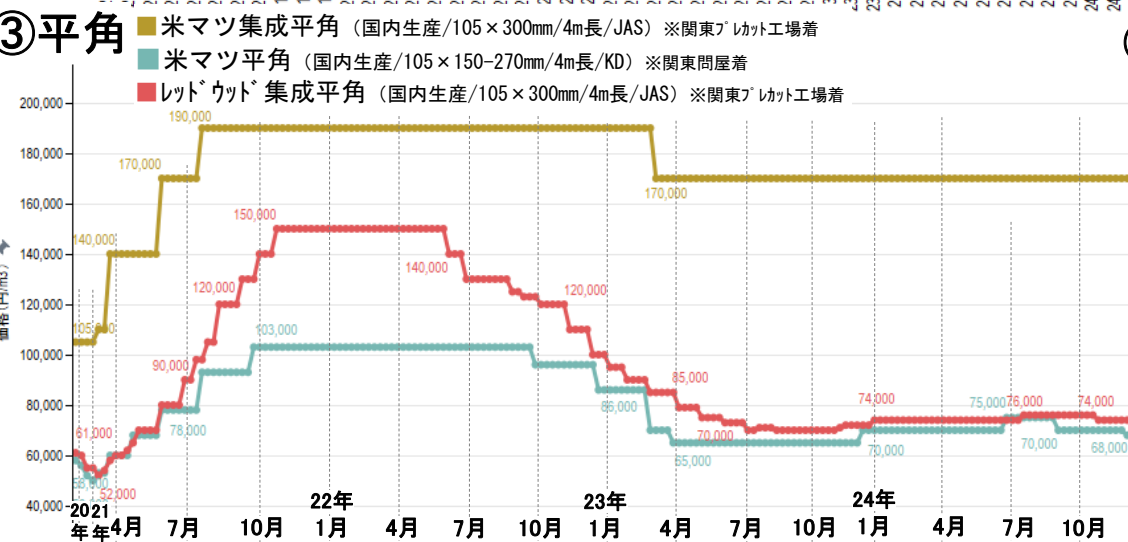
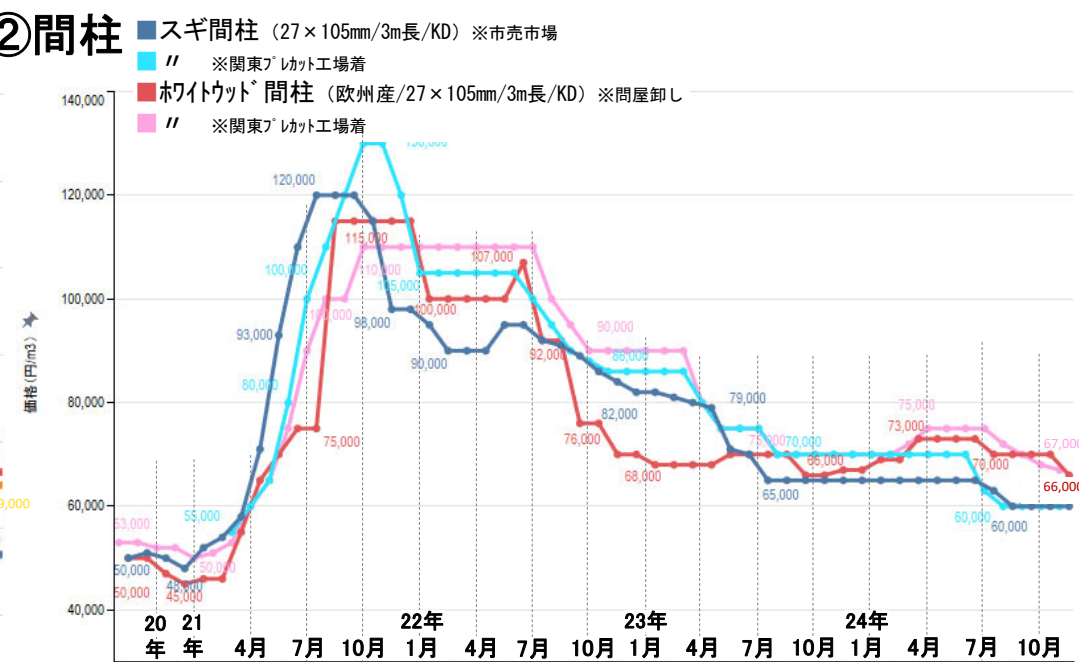
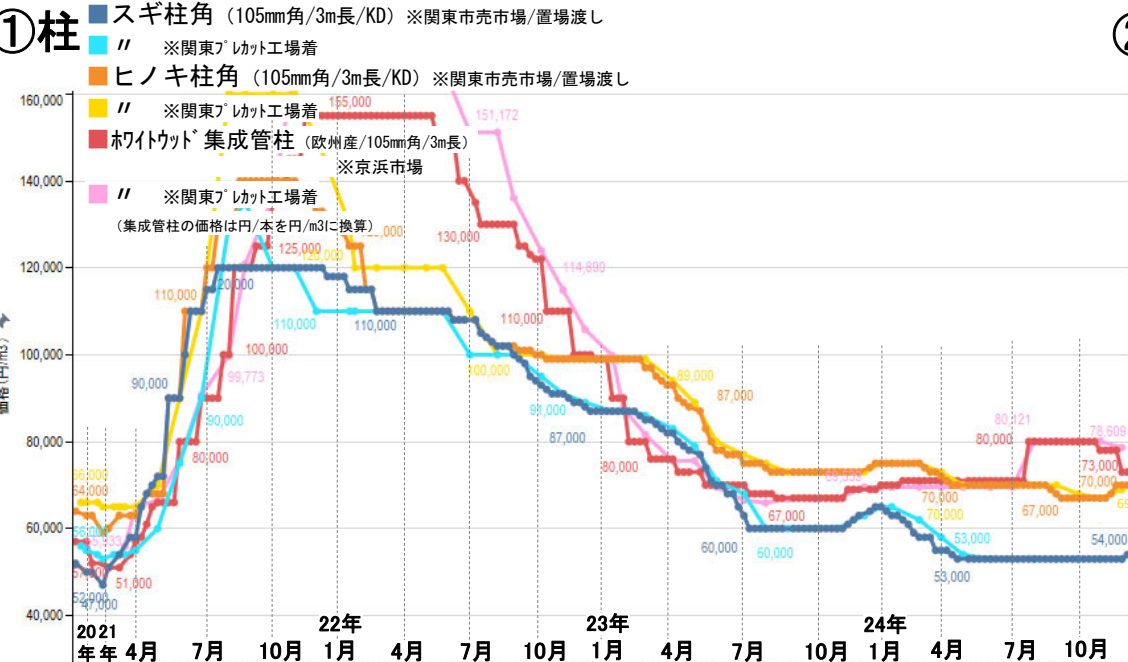
(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	24,800	23,670	105%
静岡県	21,000	21,000	100%
兵庫県	18,000	18,000	100%
岡山県	20,000	22,000	91%
広島県	21,000	19,500	108%
愛媛県	21,690	23,700	92%
高知県	21,000	22,000	95%
熊本県	24,500	22,600	108%
大分県	25,000	21,000	119%

※各県12月の値を使用。

(2) 製品価格

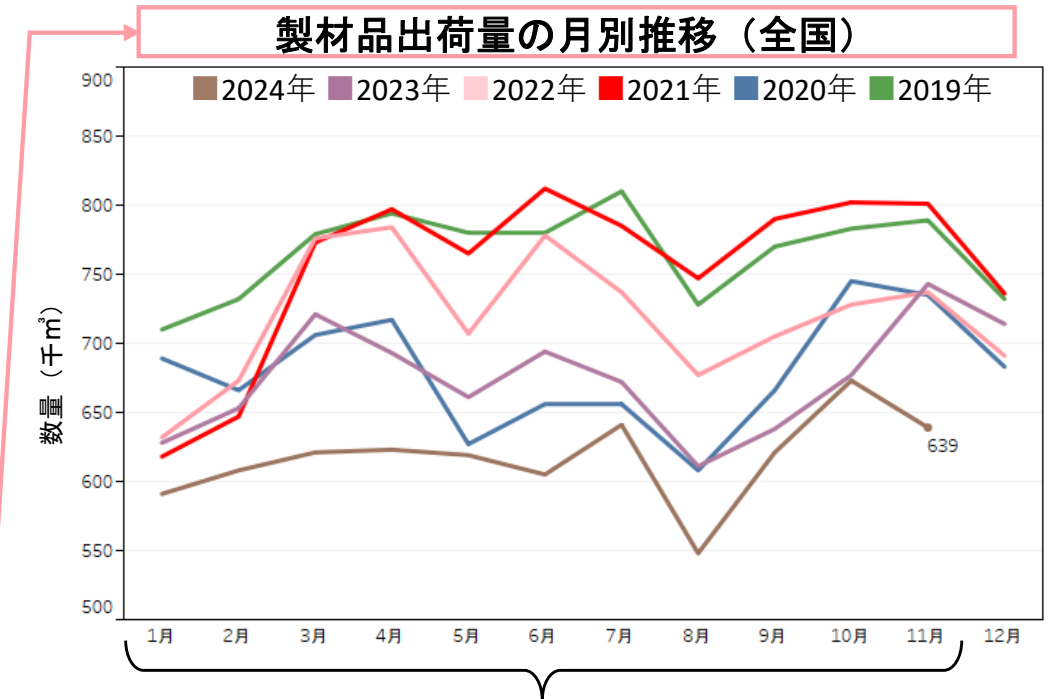
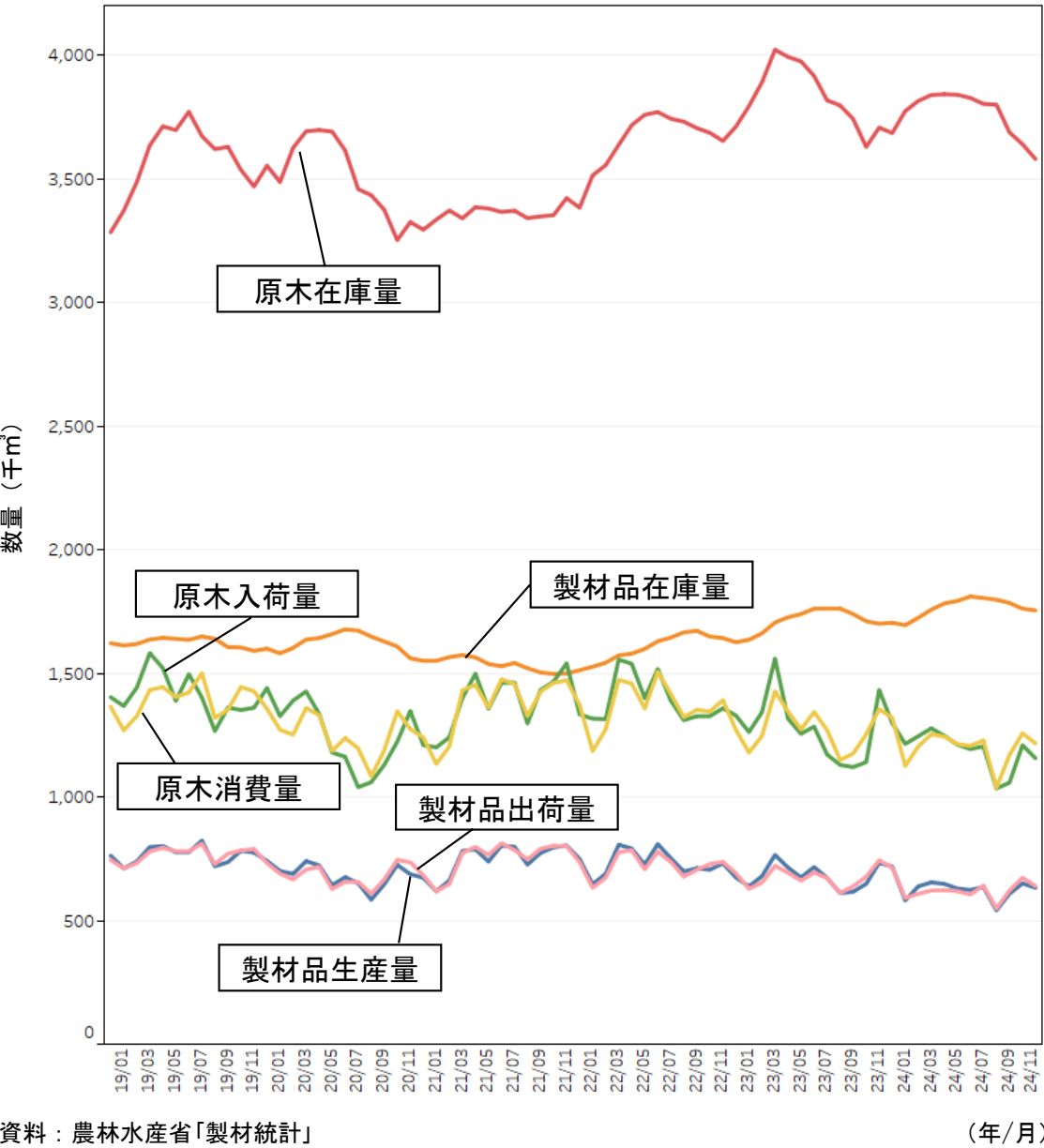
令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。
令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和5年夏頃より概ね横ばいで推移。
構造用合板の価格は、令和5(2023)年以降、下落傾向。国産材の柱の価格は、令和6(2024)年に入ってから下落後に横ばいで推移。



2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2024年 1～11月の原木の入荷量は13,047千m³ (2019年比84%)。
- 同様に製材品の出荷量は6,789千m³ (2019年比80%)。

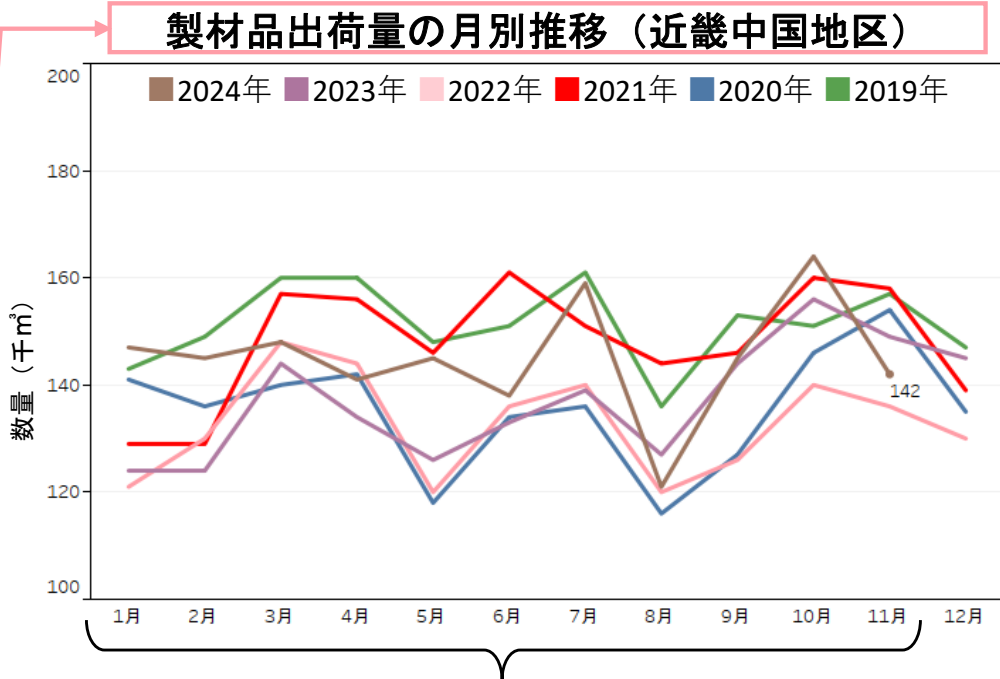
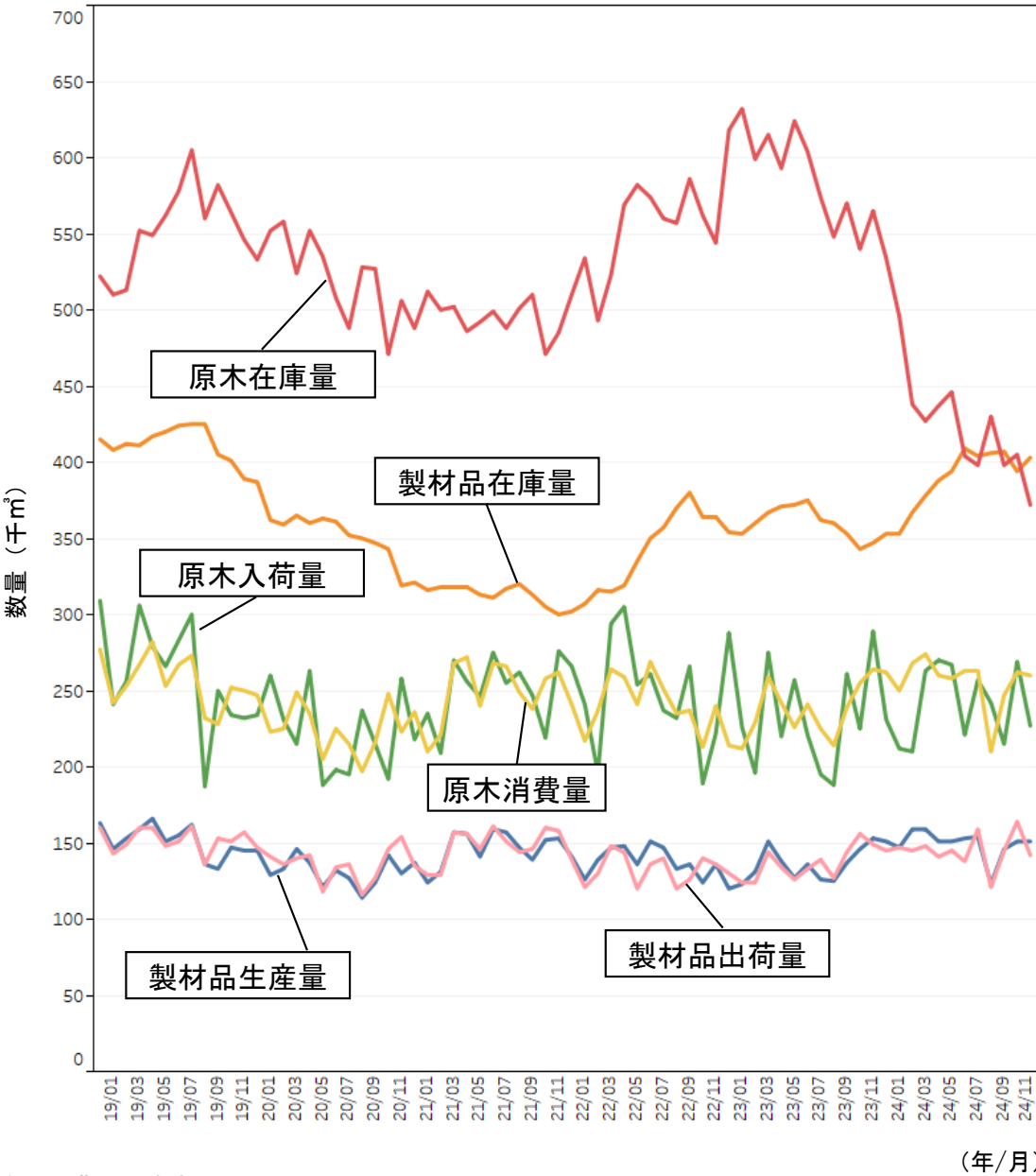


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～11月原木入荷量合計(千m3)	15,534	13,615	15,352	15,348	14,010	13,047
2019年との比較※	—	88%	99%	99%	90%	84%
1～11月製材品出荷量合計(千m3)	8,455	7,471	8,337	7,934	7,391	6,789
2019年との比較※	—	88%	99%	94%	87%	80%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(1) 製材（近畿中国地区）

- 2024年 1～11月の原木の入荷量は2,653千m³（2019年比94%）。
- 同様に製材品の出荷量は1,595千m³（2019年比96%）。

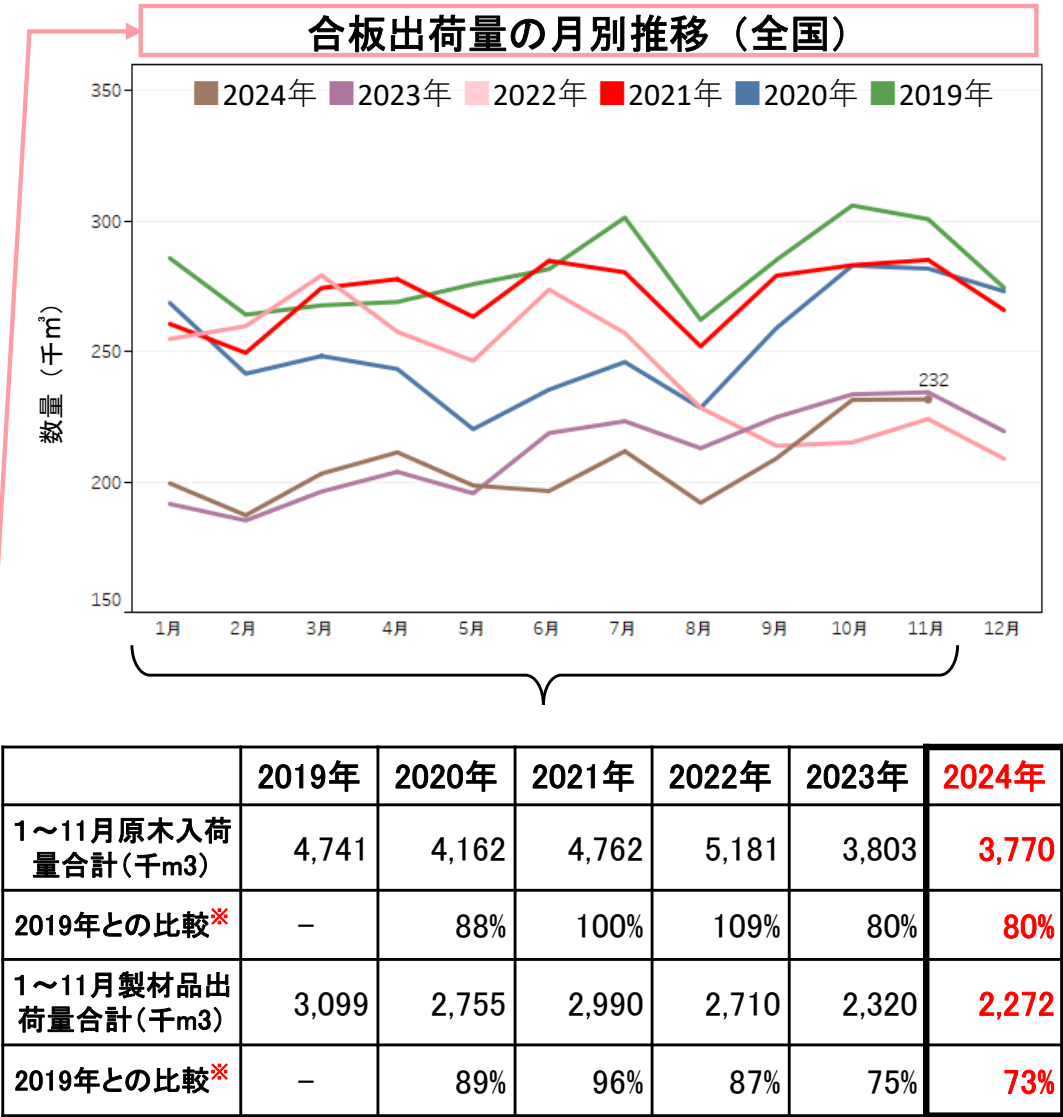
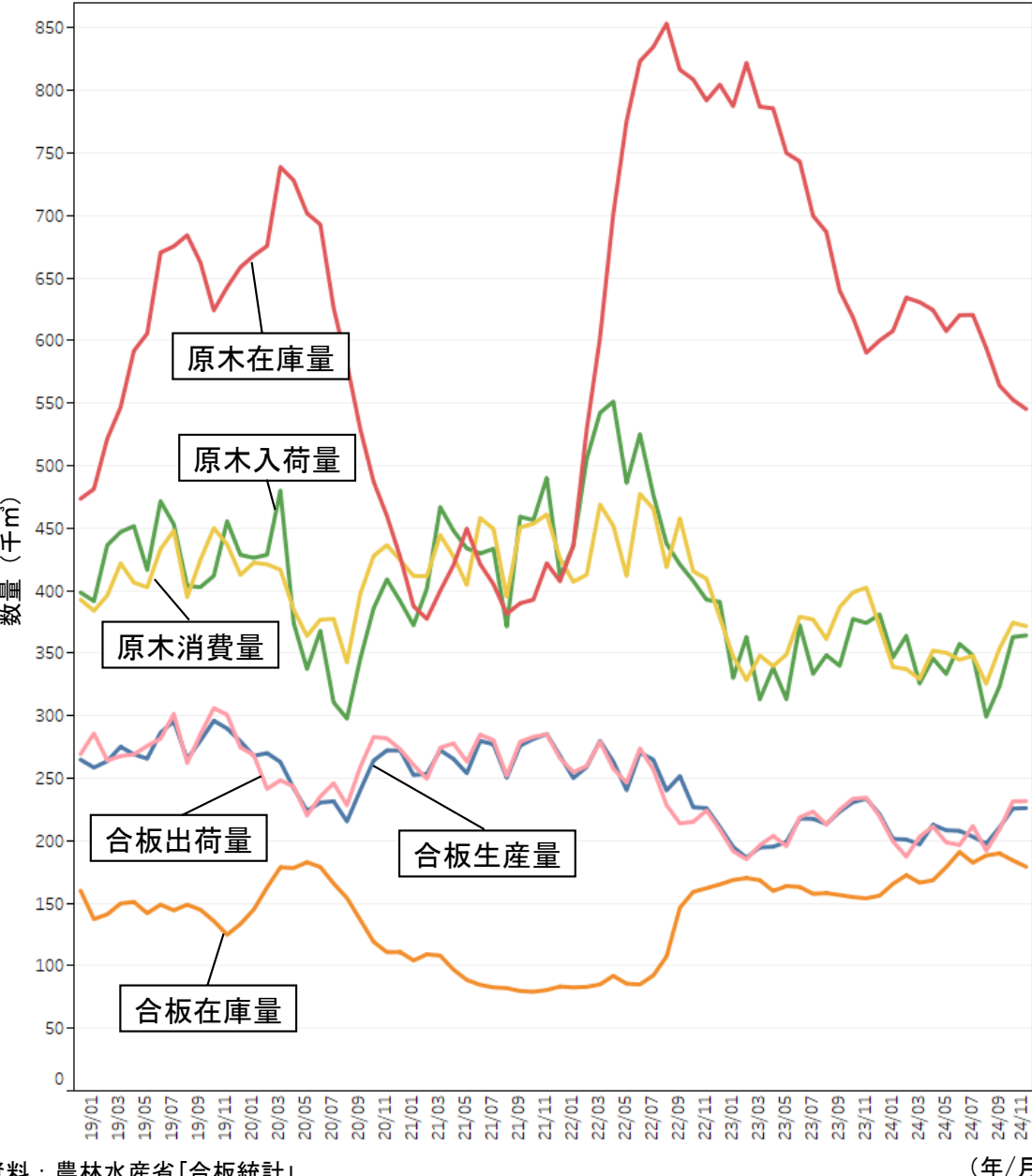


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～11月原木入荷量合計(千m3)	2,834	2,452	2,750	2,697	2,553	2,653
2019年との比較※	—	87%	97%	95%	90%	94%
1～11月製材品出荷量合計(千m3)	1,669	1,490	1,637	1,461	1,500	1,595
2019年との比較※	—	89%	98%	88%	90%	96%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板（全国）

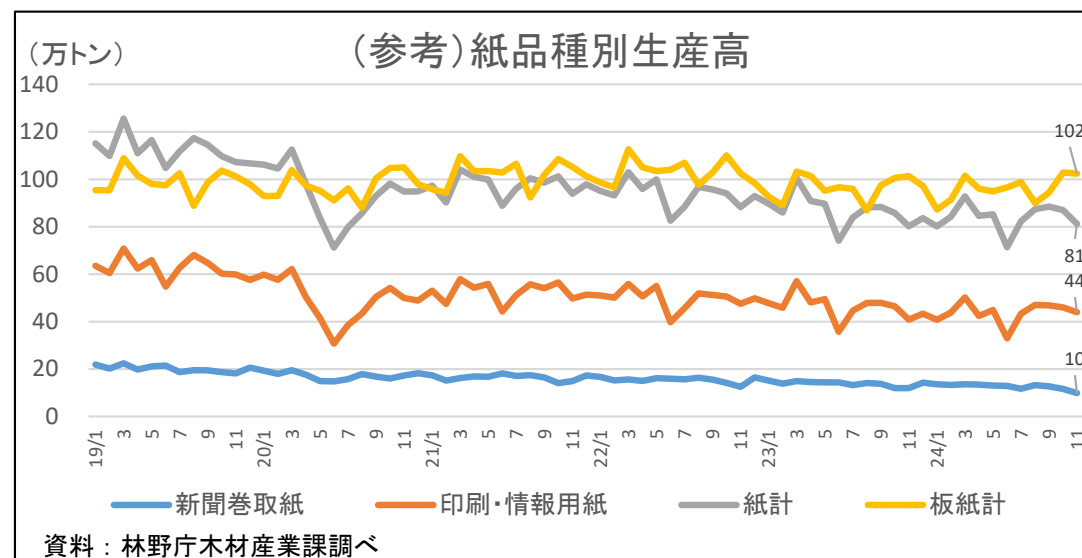
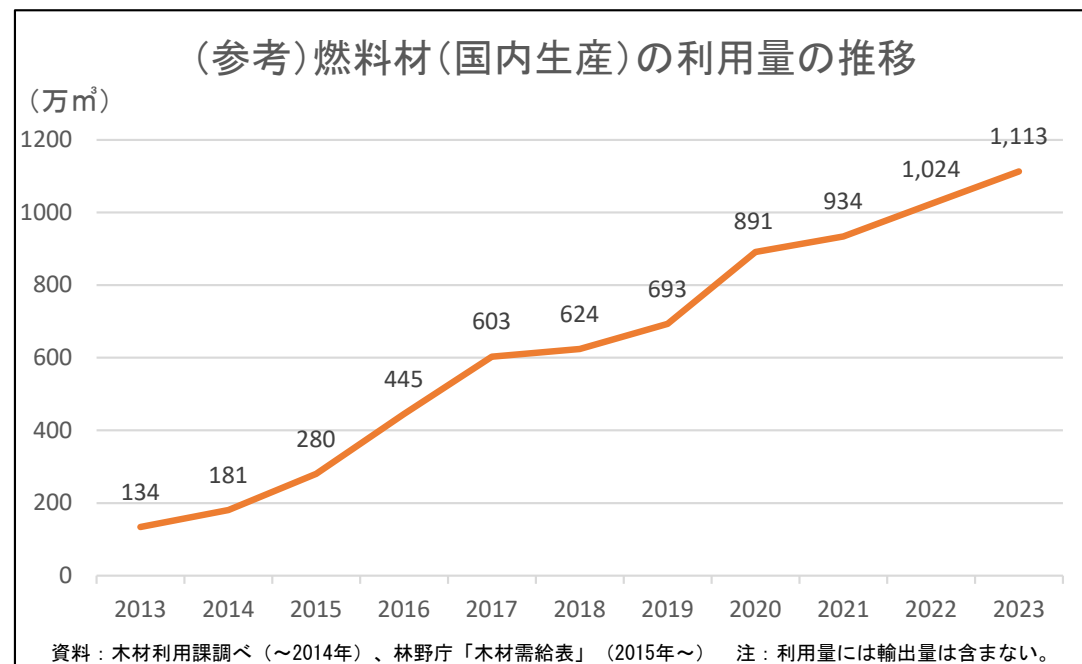
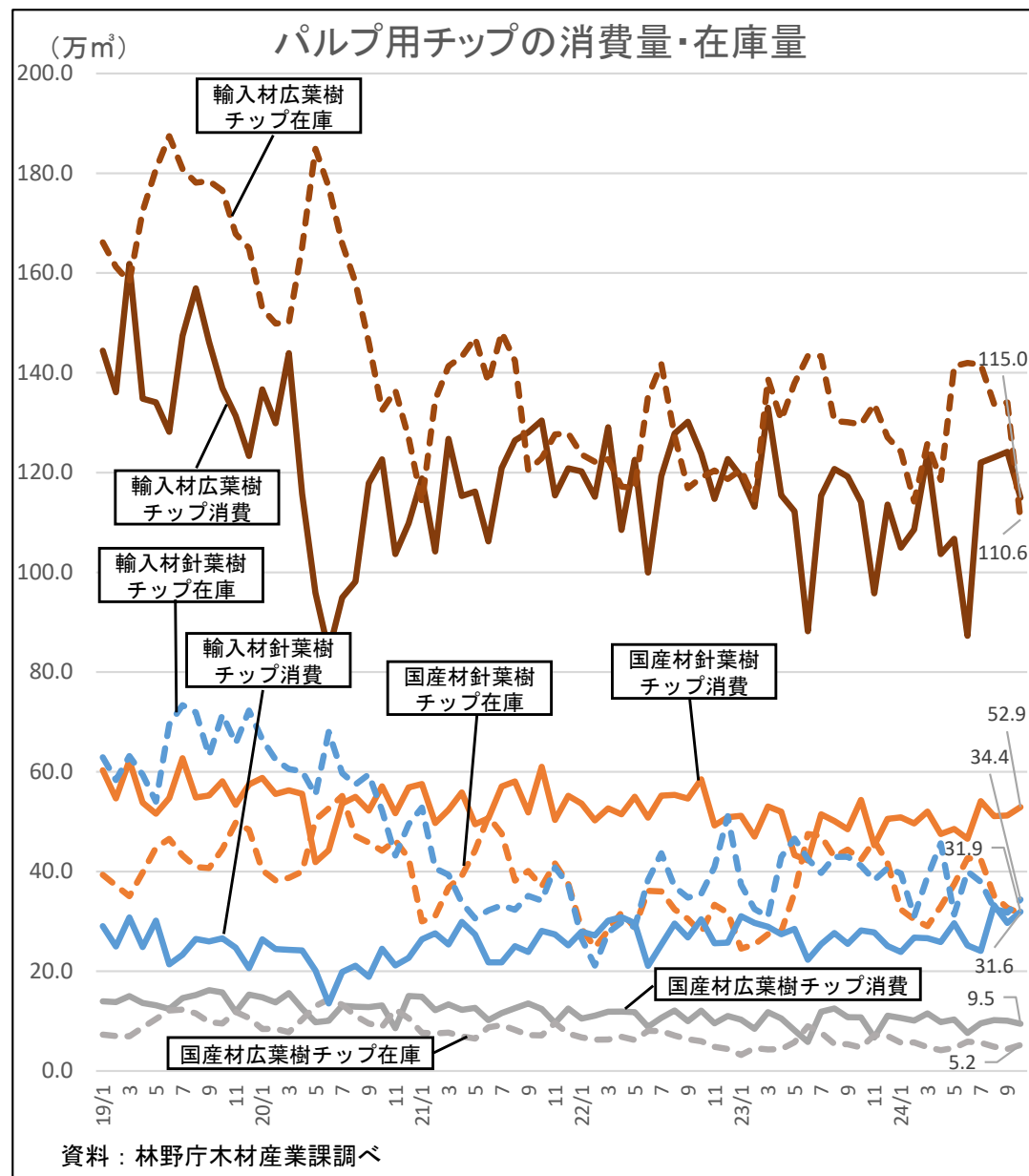
- 2024年 1～11月の原木の入荷量は3,770千m³（2019年比80%）。
- 同様に合板の出荷量は2,272千m³（2019年比73%）。



※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ（全国）

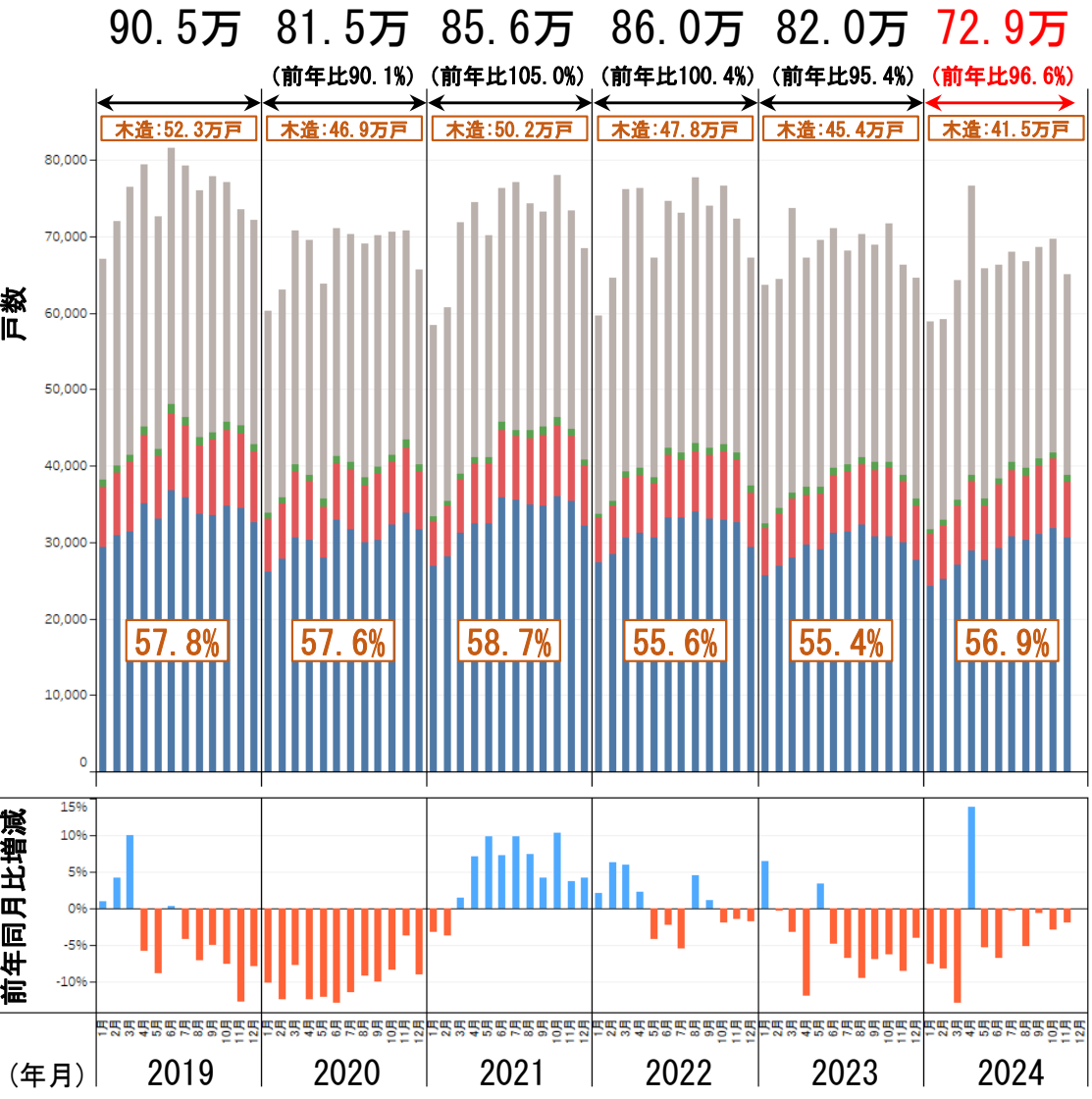
- パルプ用チップの消費について、2024年10月の輸入材広葉樹チップの消費量は115.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は52.9万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。



3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2019年1月～2024年11月)

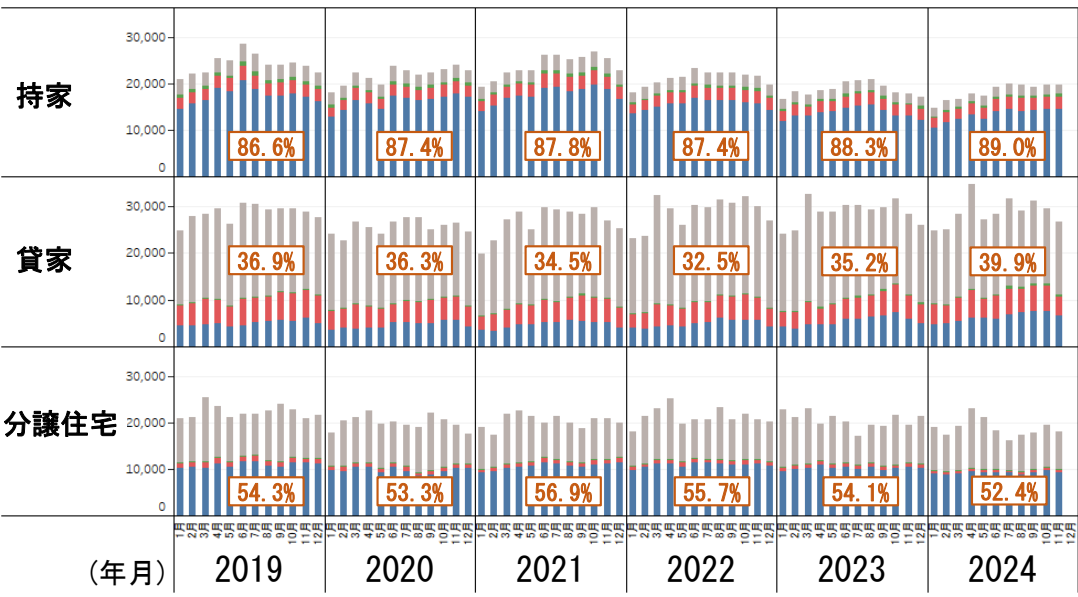
- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年1～11月の新設住宅着工戸数は、72.9万戸（前年同期比96.6%）、このうち木造住宅は41.5万戸（同99.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2024年 1～11月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	729,113	755,037	96.6%	792,280	92.0%
■非木造	314,329	336,340	93.5%	351,775	89.4%
木造	414,784	418,697	99.1%	440,505	94.2%
■木造プレハブ	9,872	9,432	104.7%	9,309	106.0%
■2×4	87,909	83,642	105.1%	84,111	104.5%
■在来軸組	317,003	325,623	97.4%	347,085	91.3%
□木造率	56.9%	55.5%		55.6%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)

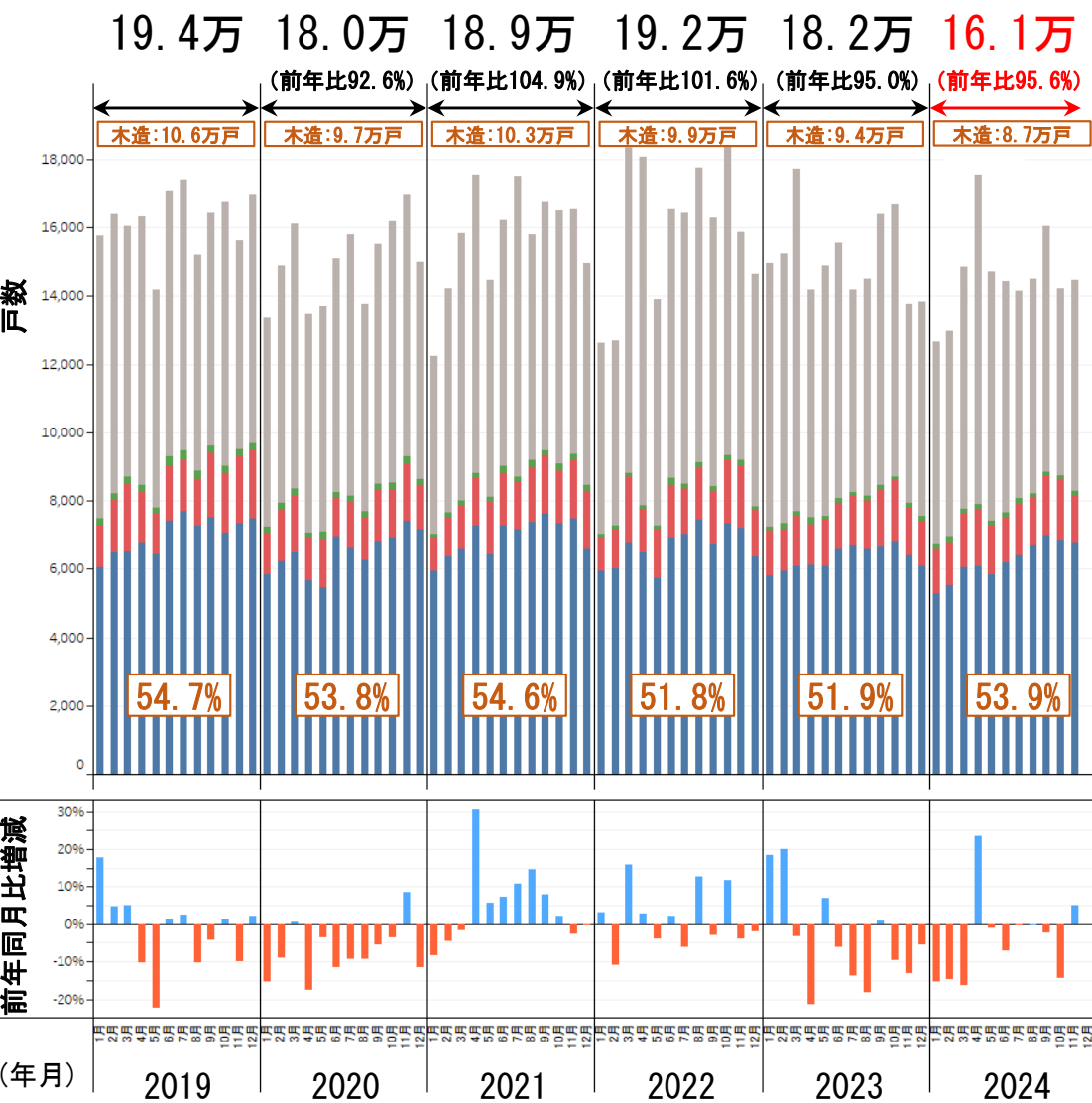


資料：国土交通省「住宅着工統計」

(2) 近畿中国地区の住宅着工戸数 (2019年1月～2024年11月)

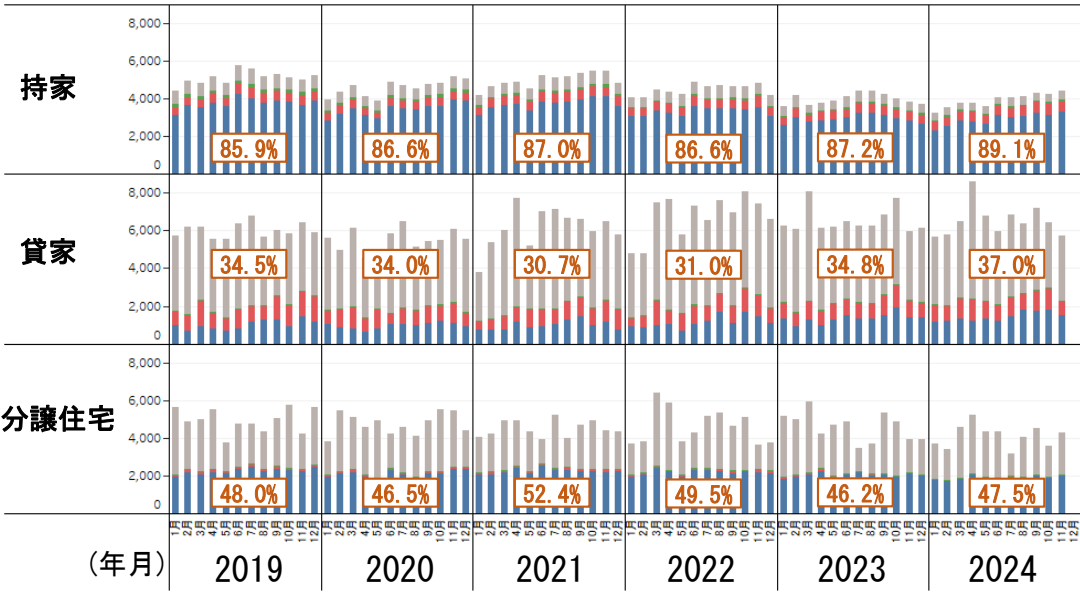
- 2023年の新設住宅着工戸数は、18.2万戸（前年比95.0%）、このうち木造住宅は9.4万戸（同95.1%）。
- 2024年1～11月の新設住宅着工戸数は、16.1万戸（前年同期比95.6%）、このうち木造住宅は8.7万戸（同99.6%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2024年 1～11月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	160,578	168,034	95.6%	176,899	90.8%
■ 非木造	74,036	81,111	91.3%	85,434	86.7%
木造	86,542	86,923	99.6%	91,465	94.6%
■ 木造プレハブ	1,504	1,509	99.7%	1,503	100.1%
■ 2×4	16,432	15,632	105.1%	16,399	100.2%
■ 在来軸組	68,606	69,782	98.3%	73,563	93.3%
□ 木造率	53.9%	51.7%		51.7%	

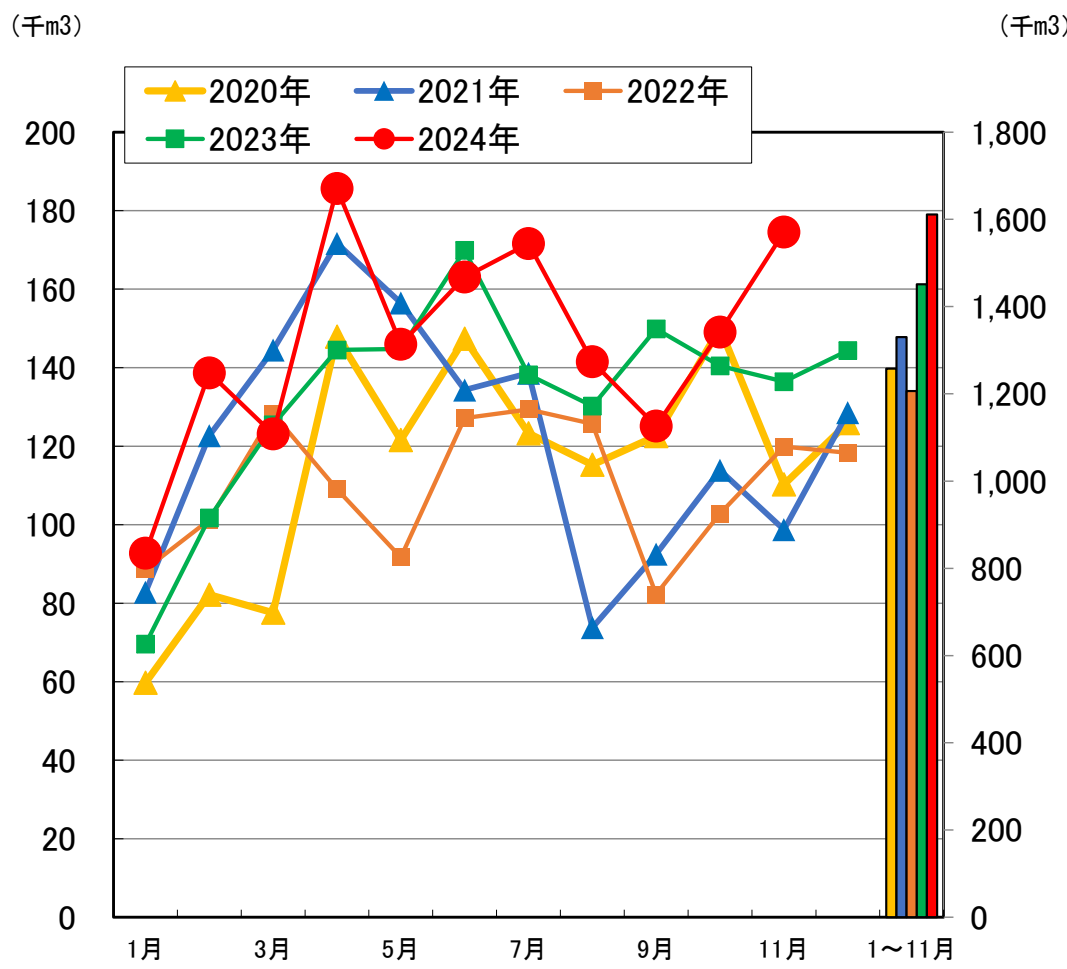
(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



4 木材輸出量

・ 2024年 1～11月の木材輸出量は、丸太1,611千m³（前年同期比111%）、製材138千m³（前年同期比112%）、合板97千m³（前年同期比92%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	11月 単月			1～11月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	160 130%	6 100%	0 146%	1,447 112%	59 114%	4 144%
韓国	10 135%	1 115%	0 48%	101 115%	8 109%	0 54%
台湾	4 83%	3 264%	0 45%	60 89%	16 98%	0 42%
米国	0 —	2 101%	0 122%	0 —	37 129%	0 73%
フィリピン	0 —	1 67%	11 122%	0 —	15 96%	92 91%
その他	0 56%	0 25%	0 0%	4 —	4 26%	0 118%
総計	175 128%	13 108%	12 122%	1,611 111%	138 112%	97 92%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m ³) 1～11月	比率 1～11月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	261.0	16.2%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	51.8	3.2%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	41.3	2.6%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	23.2	1.4%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	34.4	2.1%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	14.6	0.9%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	427.7	26.5%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	757.0	47.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない

(参考)

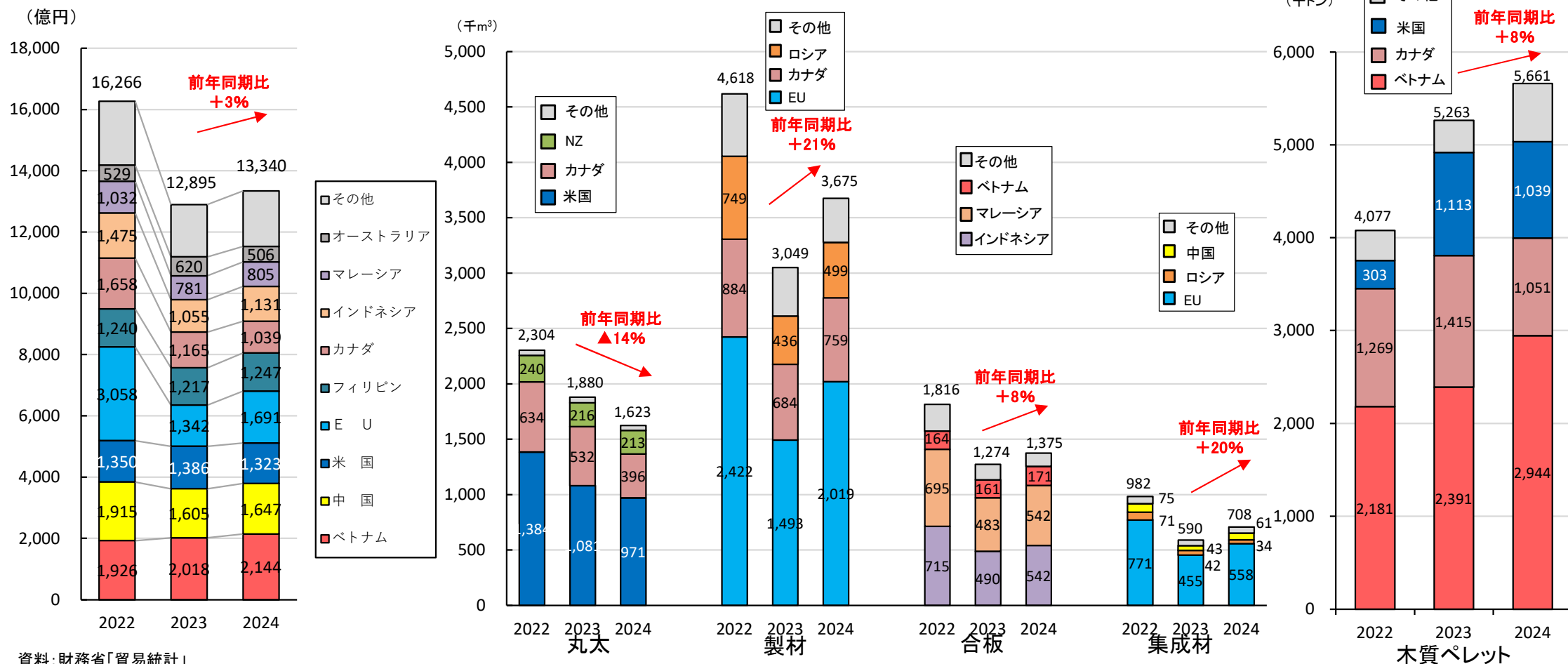
木材輸入の状況について

(2024年11月実績)

令和6年12月
林野庁 木材貿易対策室

1. 2024年11月の木材輸入実績(累計)

- 2024年1～11月の木材輸入額累計は、前年同期比+3%増の13,340億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲14%減、製材が同+21%増、合板が同+8%増、集成材が同+20%増、木質ペレットが同+8%増となった。
- なお、2022年同期と比較すると、2024年1～11月の木材輸入額累計は▲18%減。品目別輸入量では、丸太が▲30%減、製材が▲20%減、合板が▲24%減、集成材が▲28%減、木質ペレットが+39%増。



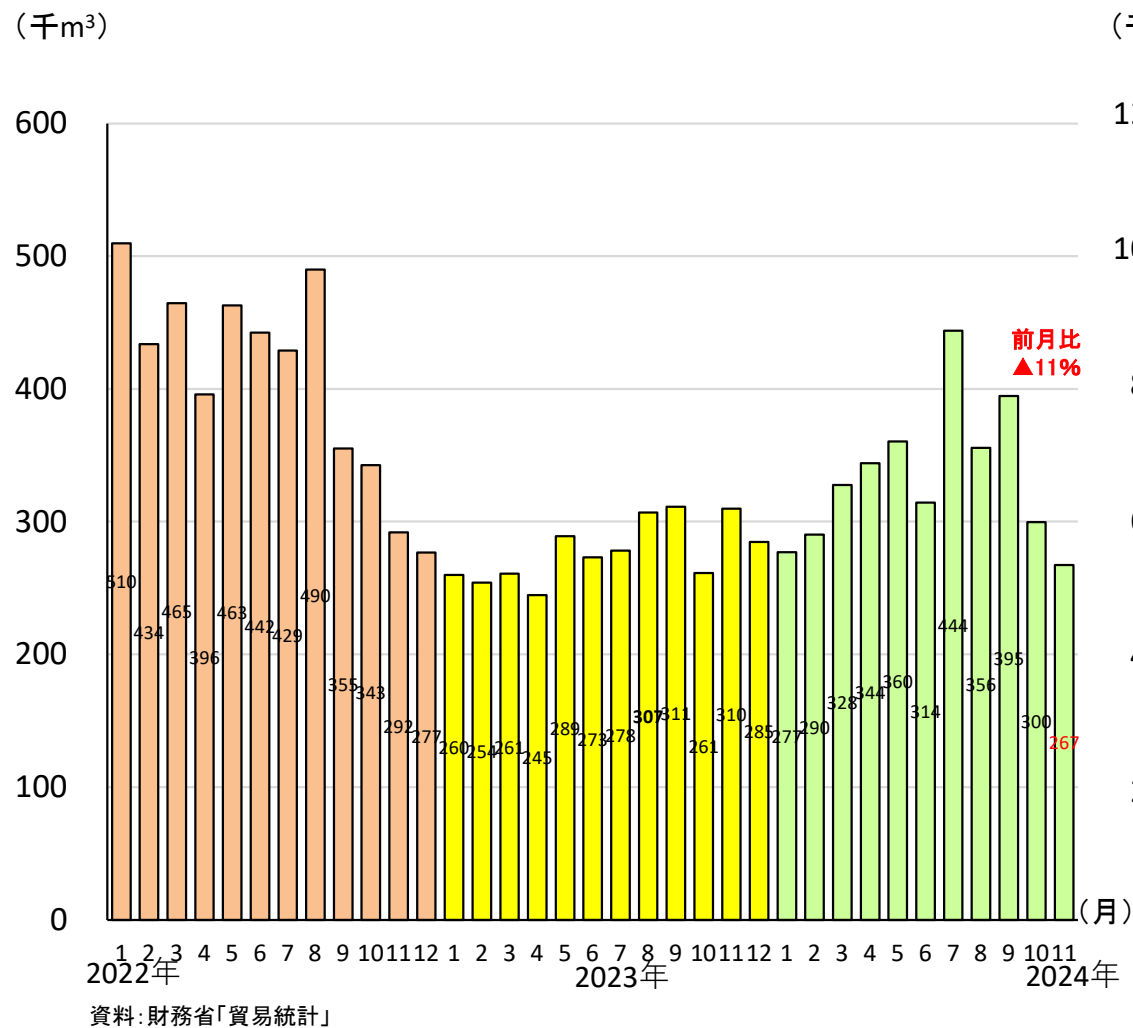
木材輸入額の推移
(2022～2024年における1月～11月累計)

資料: 財務省「貿易統計」

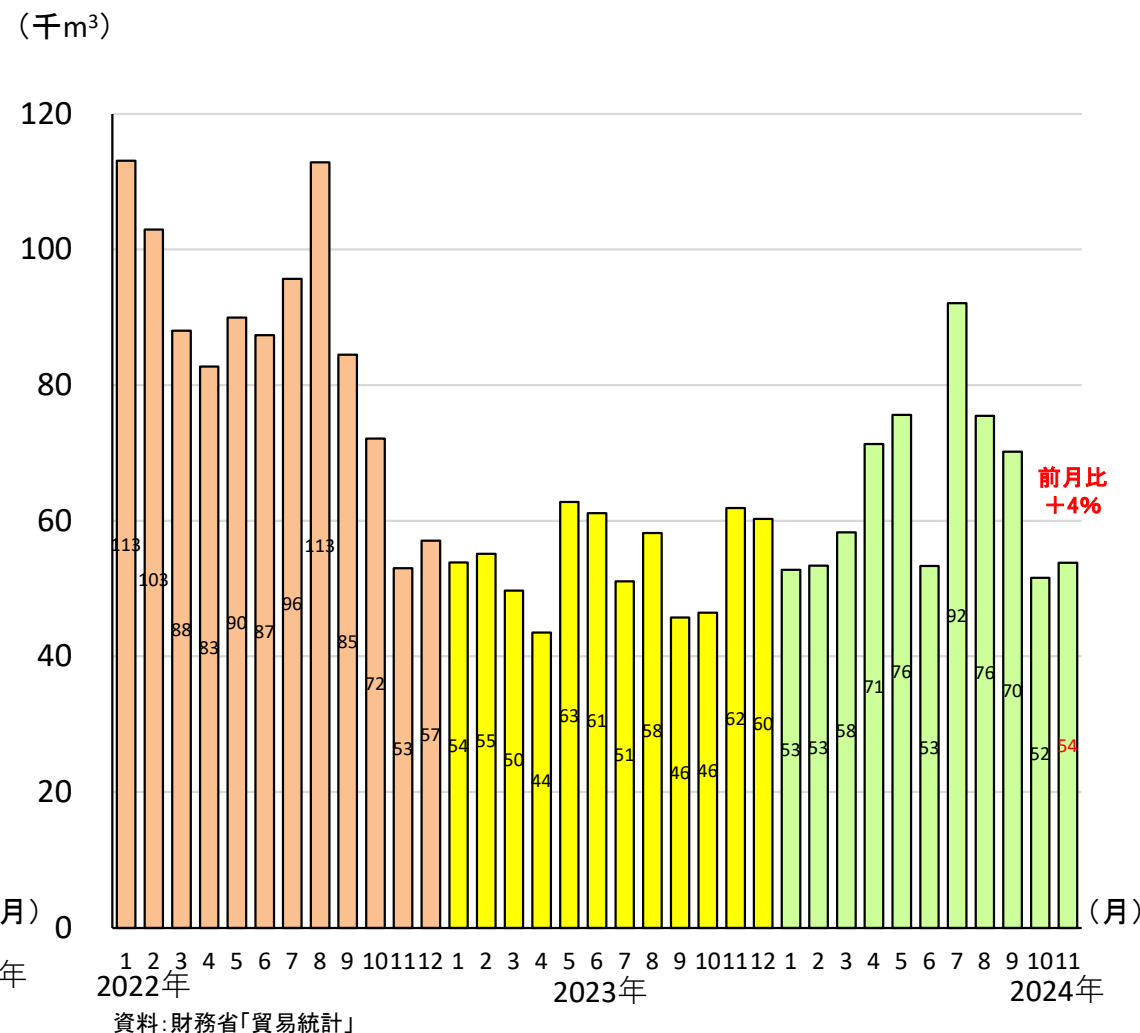
品目別木材輸入量の推移
(2022～2024年における1月～11月累計)

2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2024年11月の製材輸入量は、前月比▲11%減の26.7万m³(前年同月比▲14%減)。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+4%増の5.4万m³(前年同月比▲13%減)。



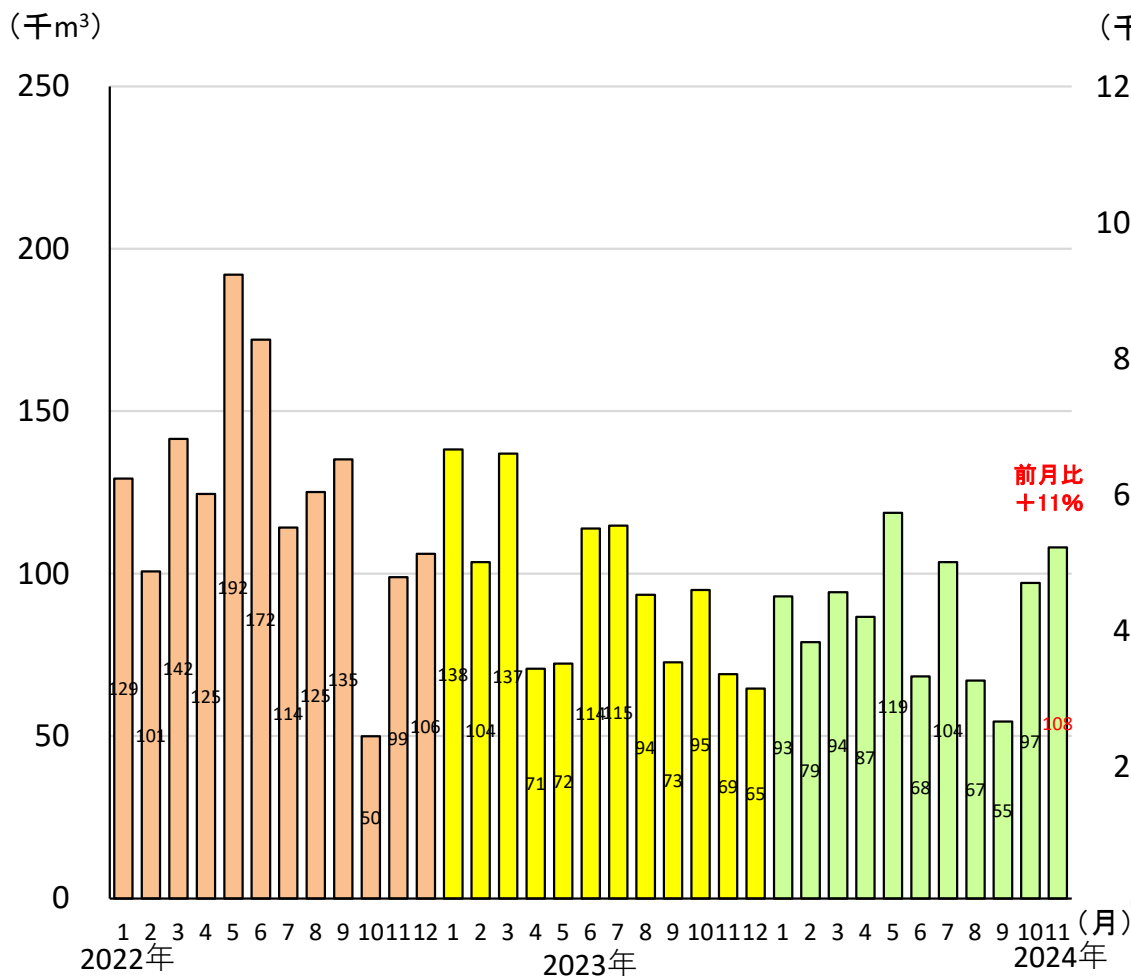
製材の輸入量



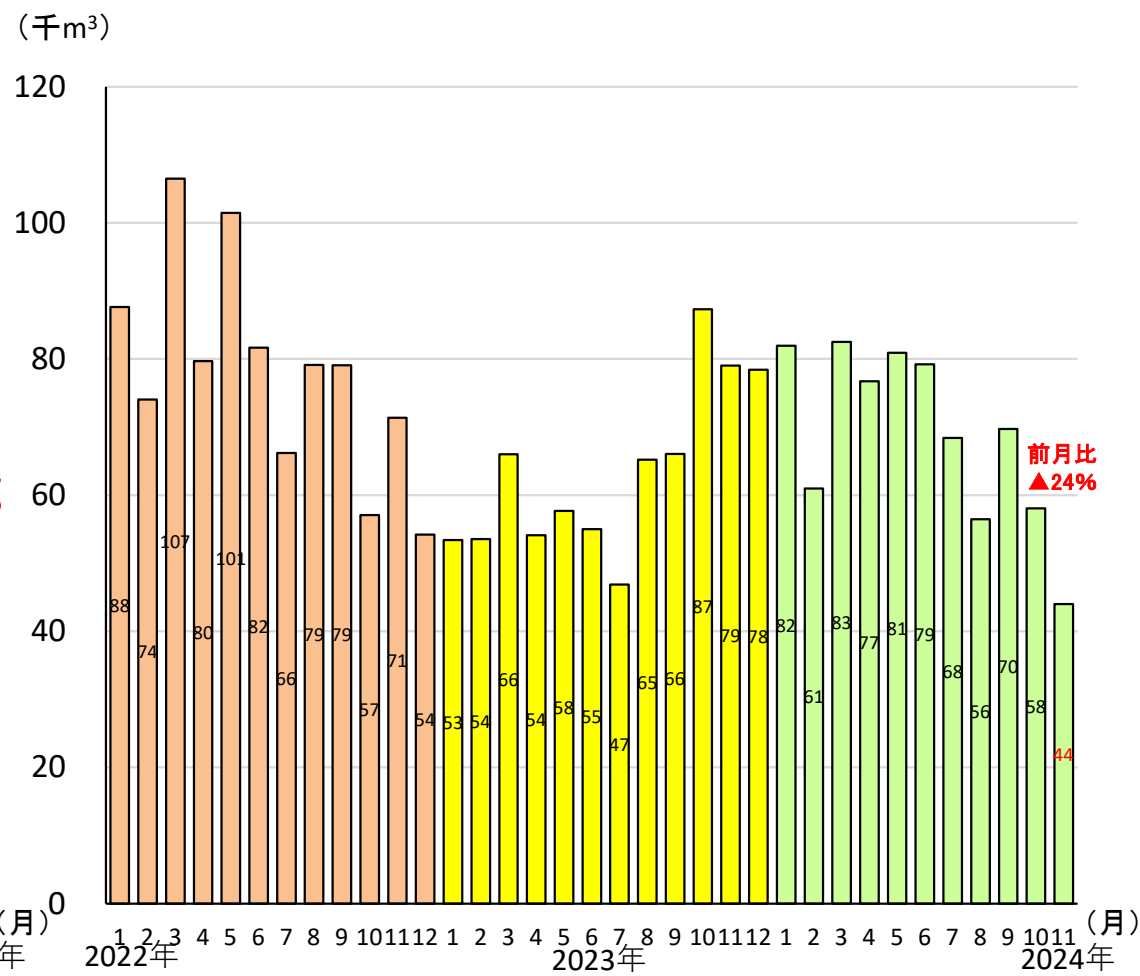
集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

- 2024年11月の米国からの丸太輸入量は、前月比+11%増の10.8万m³(前年同月比+56%増)。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲24%減の4.4万m³(前年同月比▲44%減)。



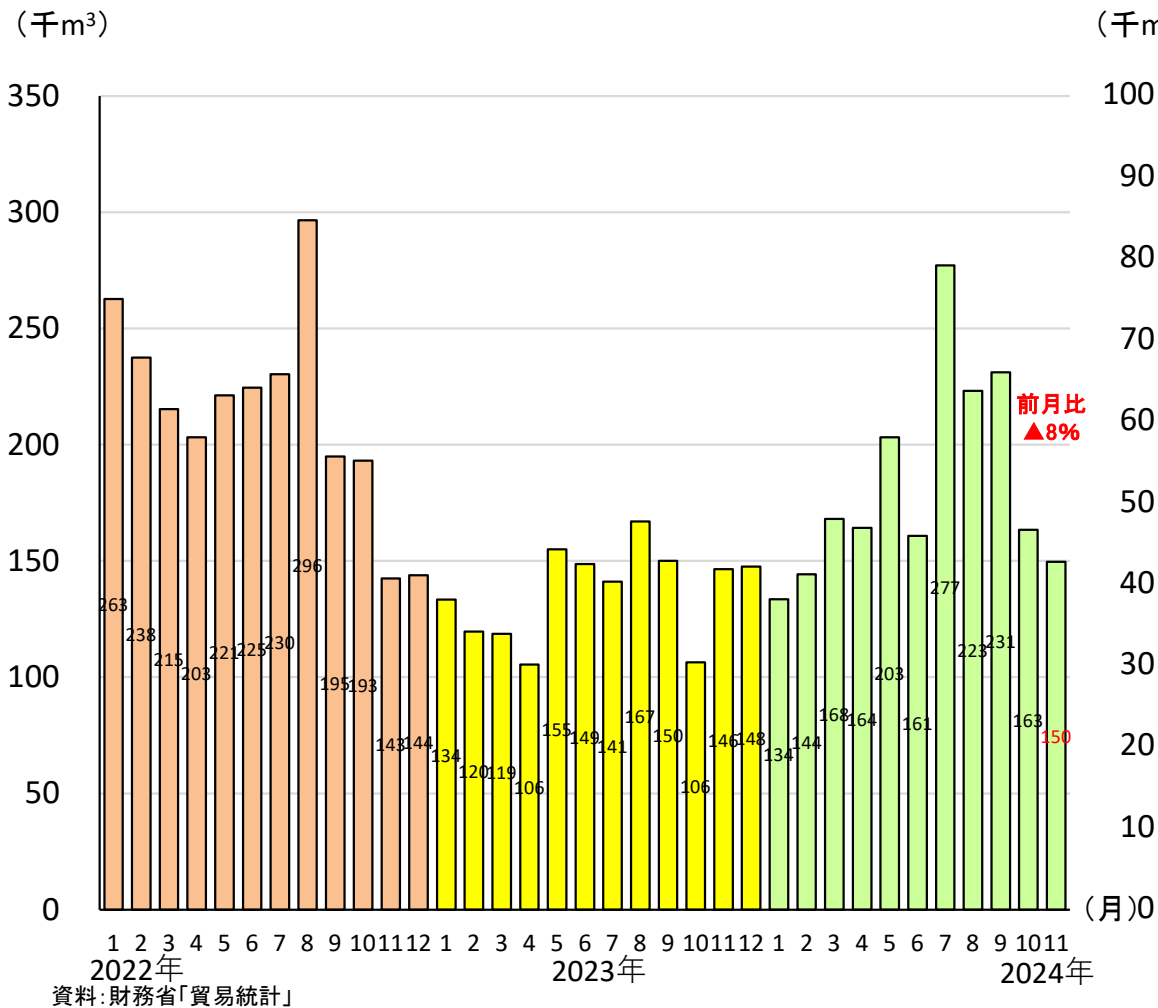
米国からの丸太輸入量



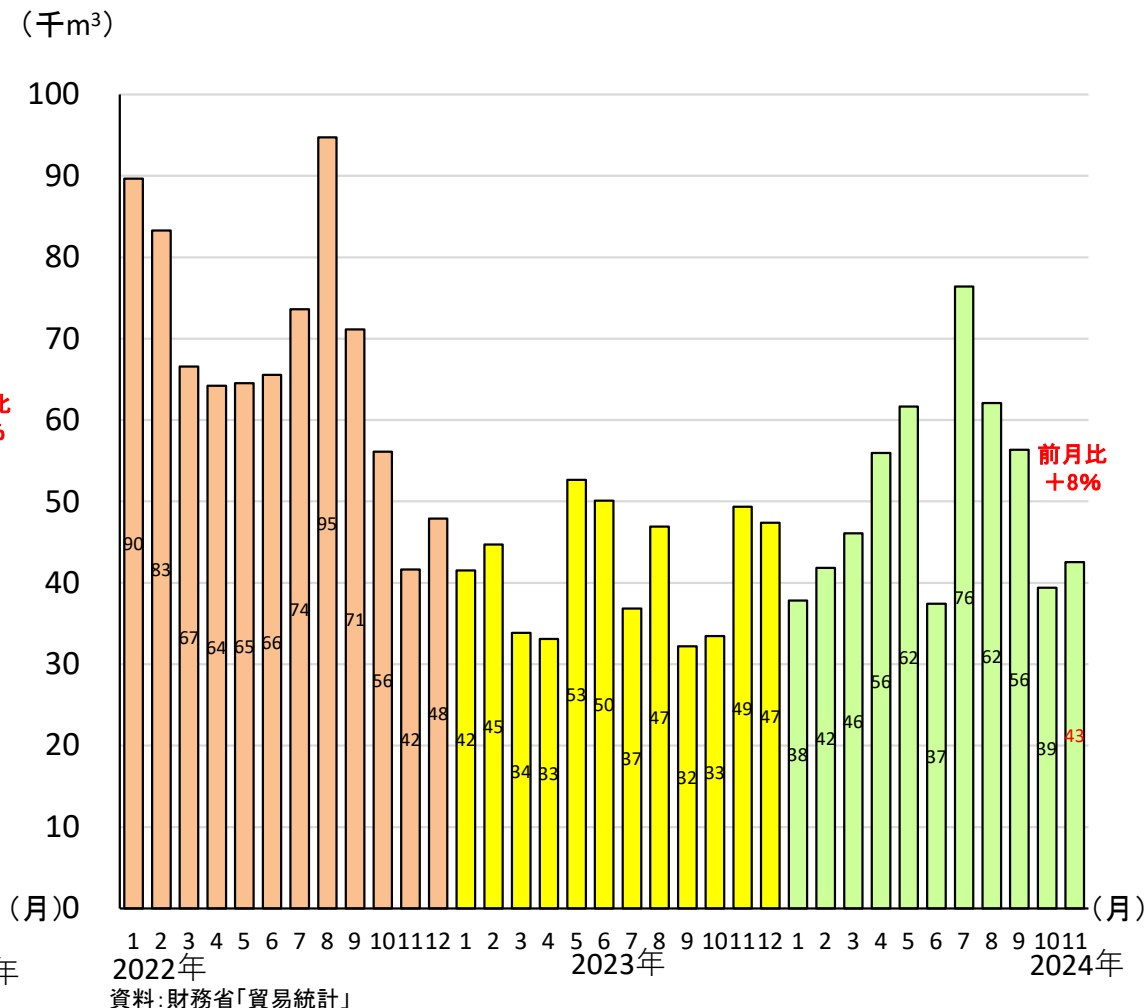
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2024年11月のEUからの製材輸入量は、前月比▲8%減の15.0万m³(前年同月比+2%増)。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+8%増の4.3万m³(前年同月比▲14%減)。



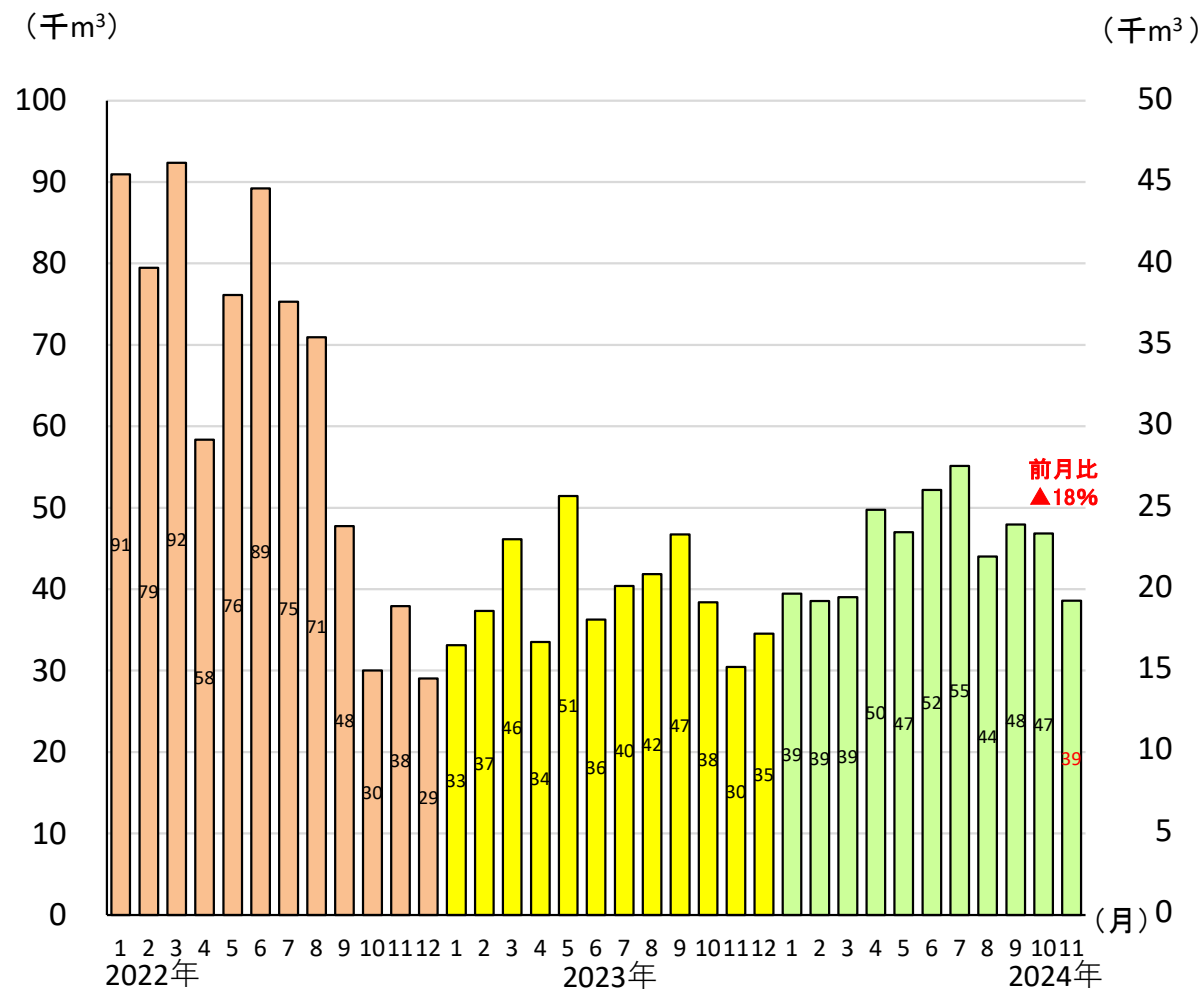
EUからの製材輸入量



EUからの集成材輸入量

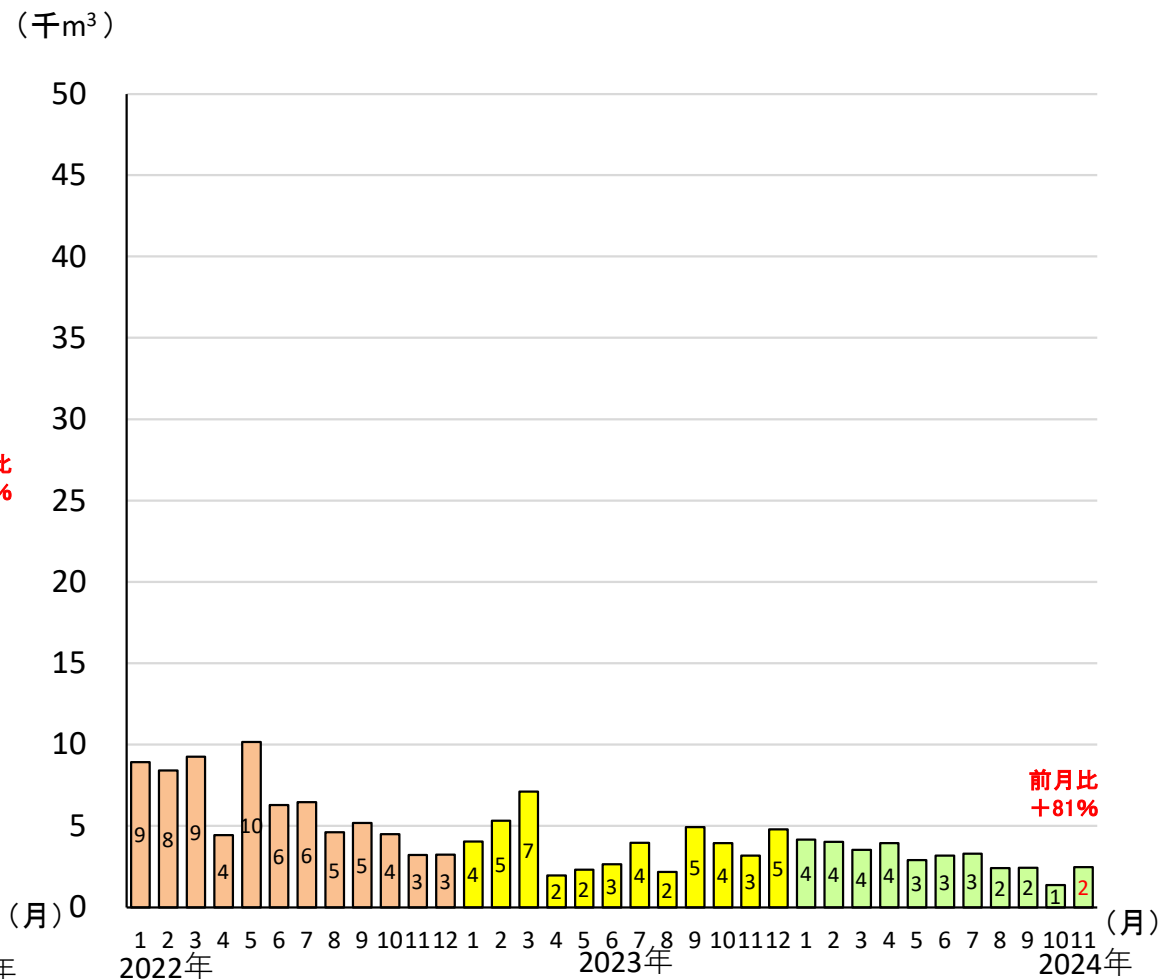
5. ロシアからの月別輸入量

- 2024年11月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲18%減の3.9万m³(前年同月比+27%増)。
- 同月のロシアからの集成材輸入量は、前月比+81%増の2.5千m³(前年同月比▲22%減)。



資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの製材輸入量



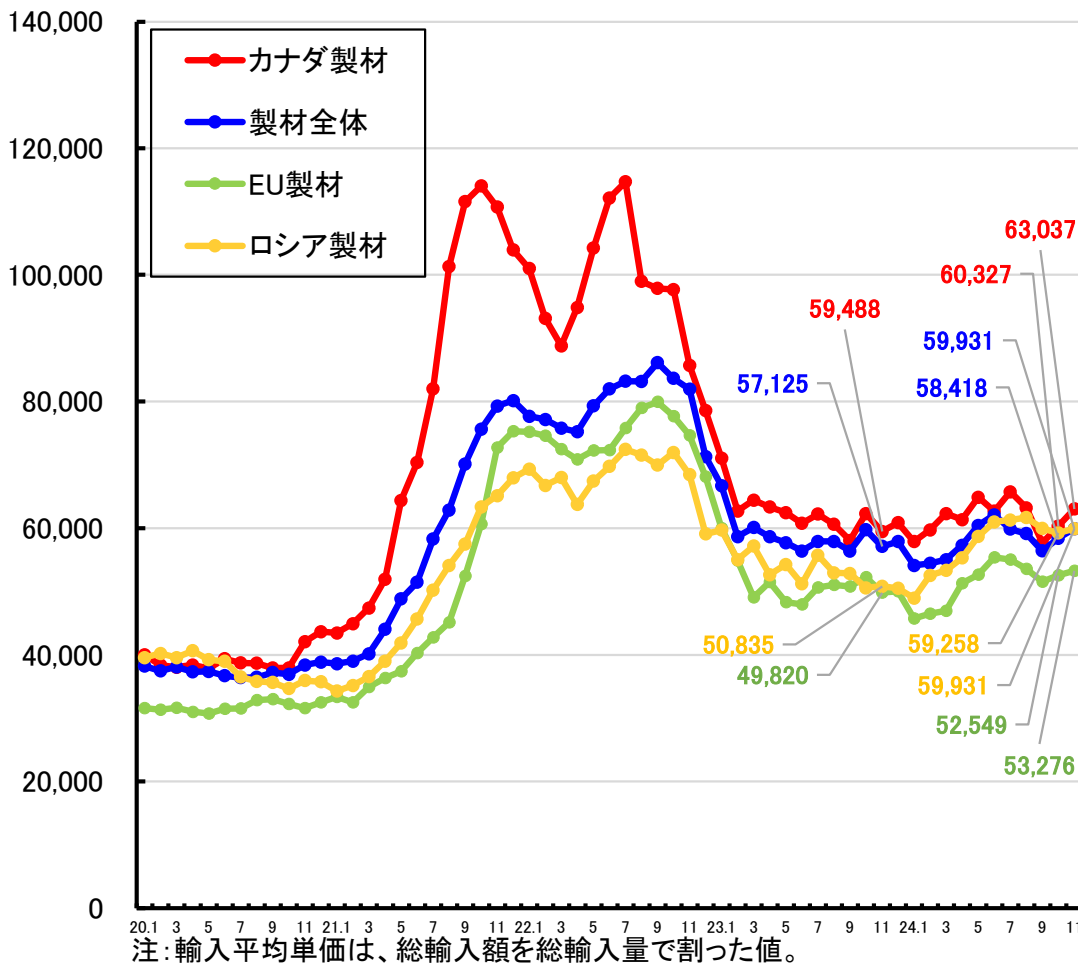
資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの集成材輸入量

6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

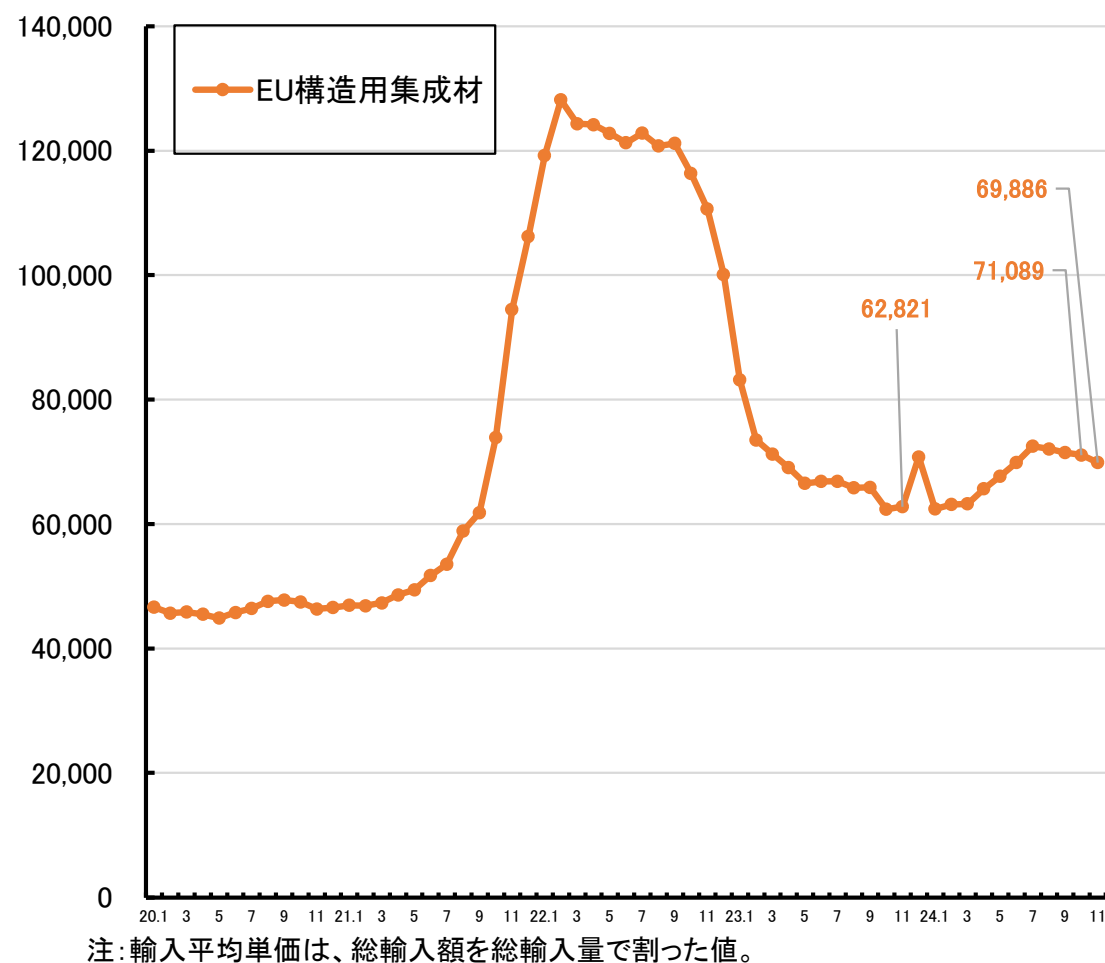
- 2024年11月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比+3%増の59,931円/m³（前年同月比+5%増）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比+4%増の63,037円/m³（前年同月比+6%増）、EUの製材は、前月比+1%増の53,276円/m³（前年同月比+7%増）、ロシアの製材は、前月比+1%増の59,931円/m³（前年同月比+18%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲2%減の69,886円/m³（前年同月比+11%増）。

（円/m³）



製材の輸入平均単価

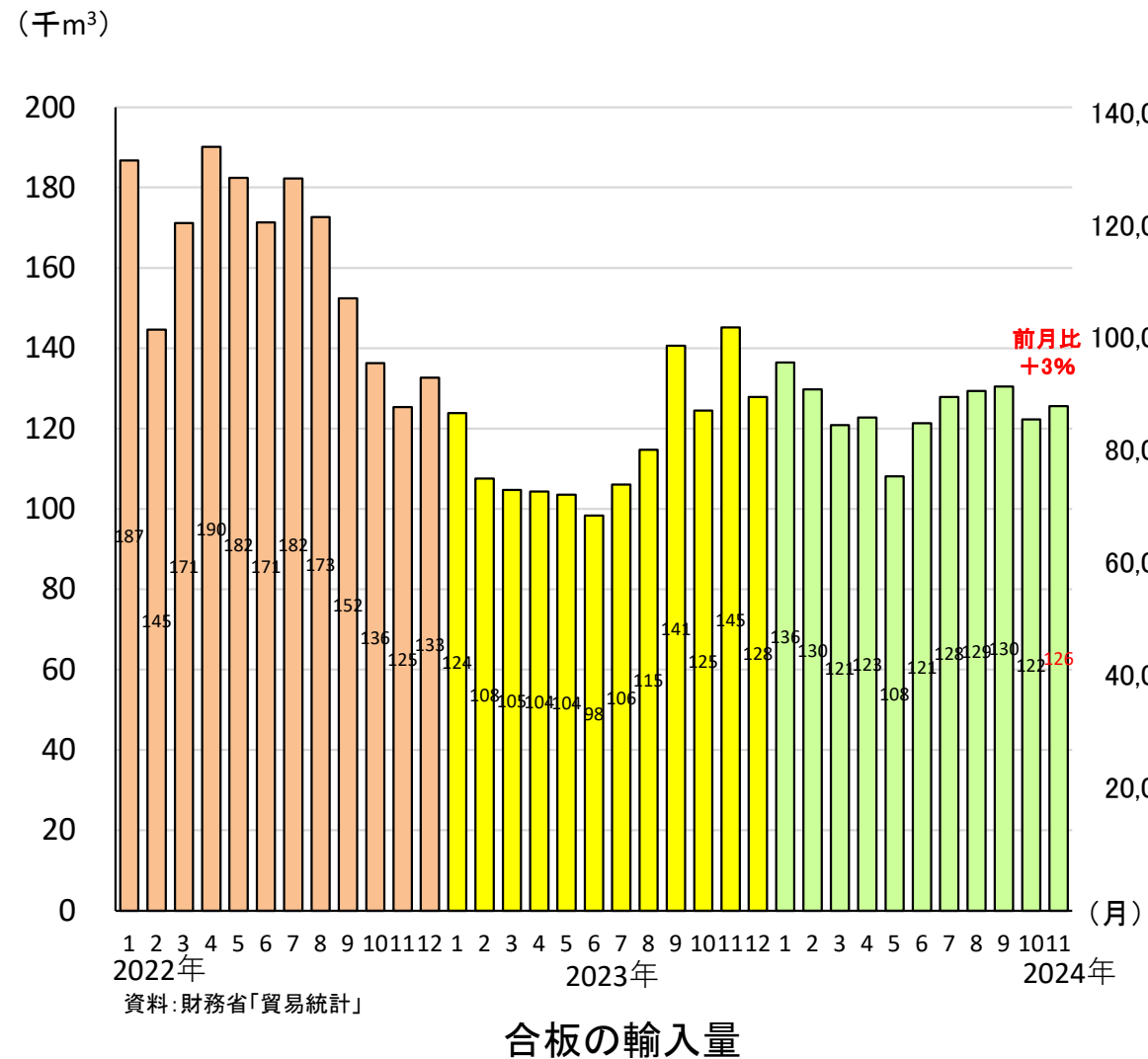
（円/m³）



構造用集成材の輸入平均単価

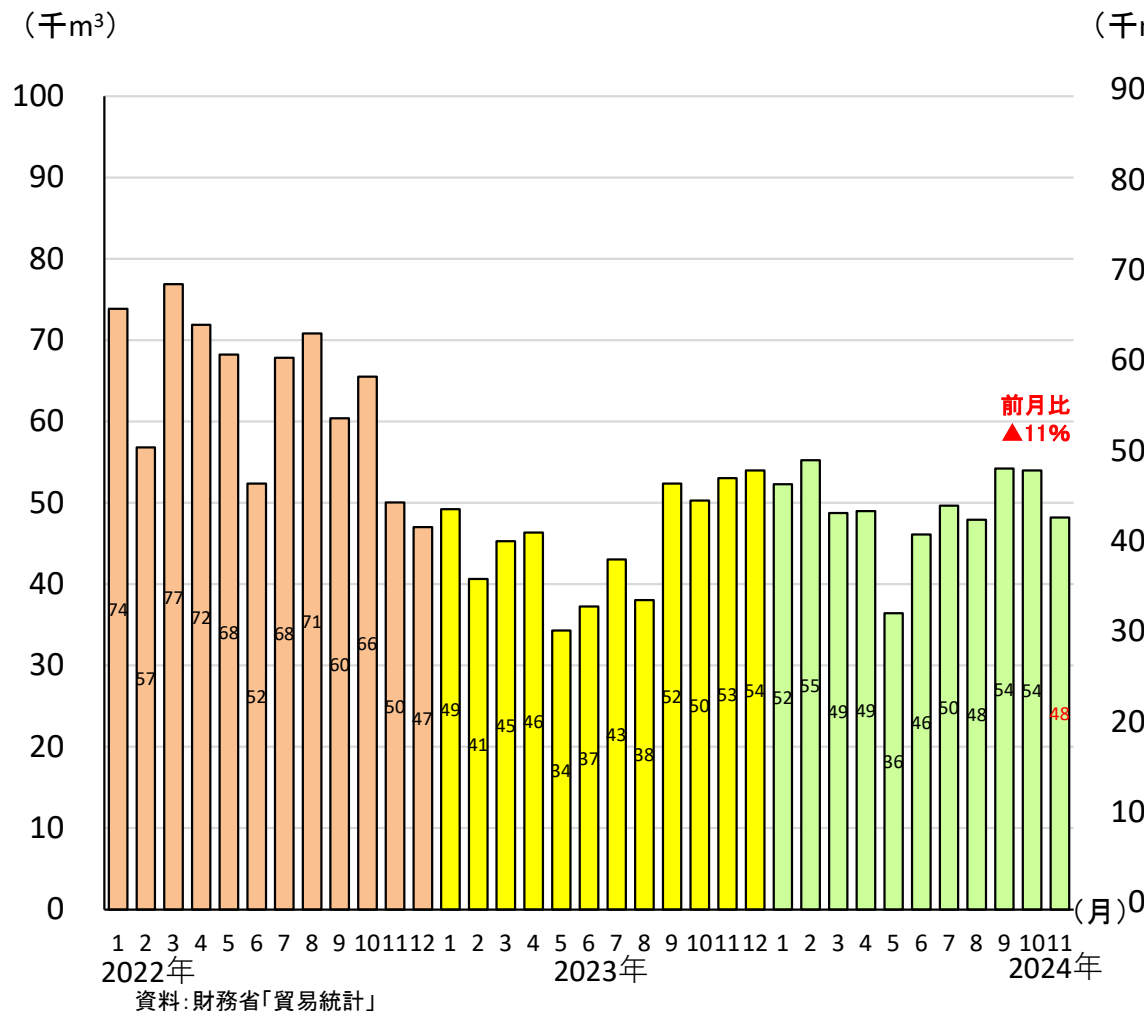
7. 合板の月別輸入量と価格

- 2024年11月の合板輸入量は、前月比+3%増の12.6万m³(前年同月比▲13%減)。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+2%増の80,254円/m³(前年同月比▲4%減)。

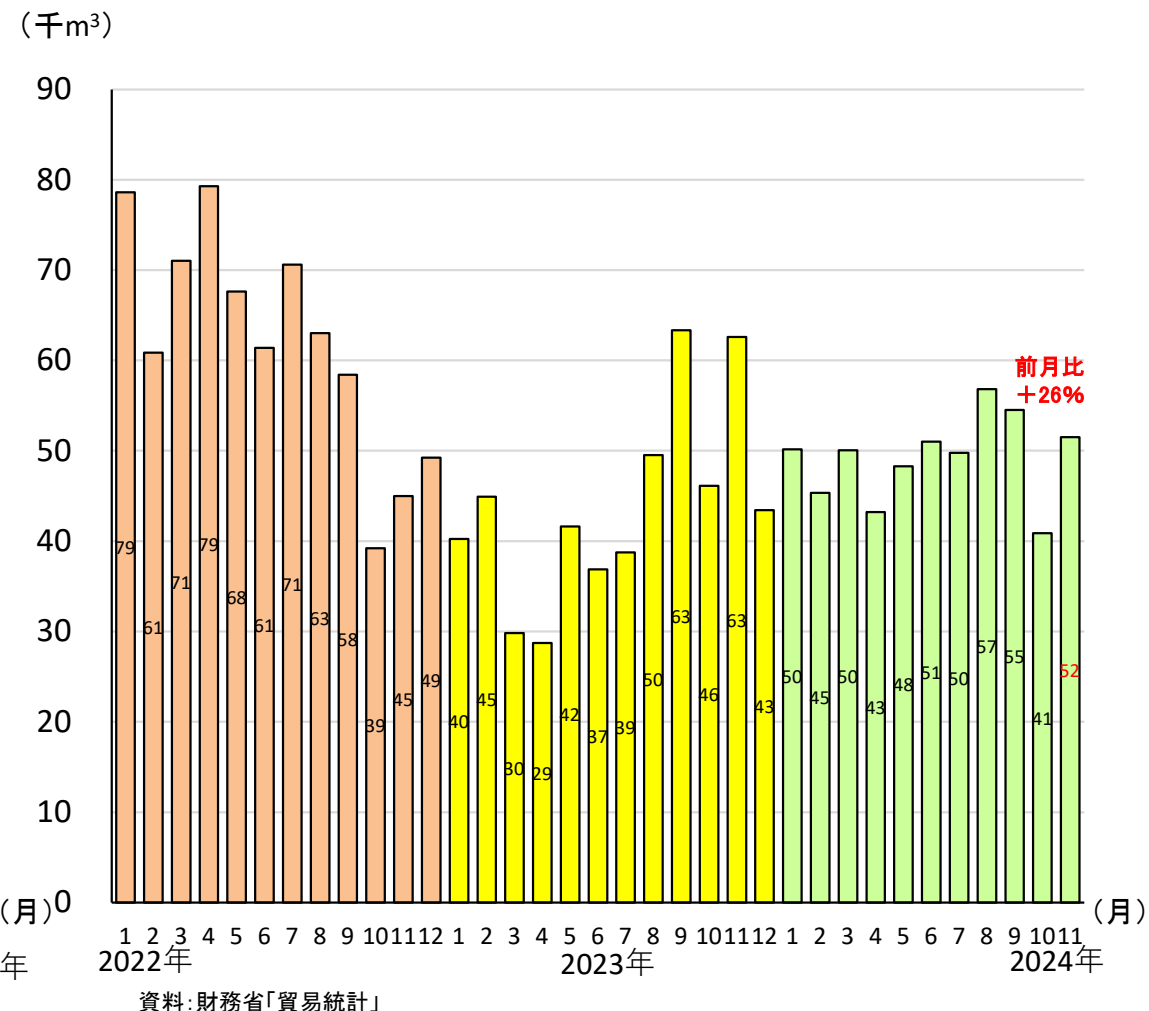


8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2024年11月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲11%減の4.8万m³（前年同月比▲9%減）。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+26%増の5.2万m³（前年同月比▲18%減）。



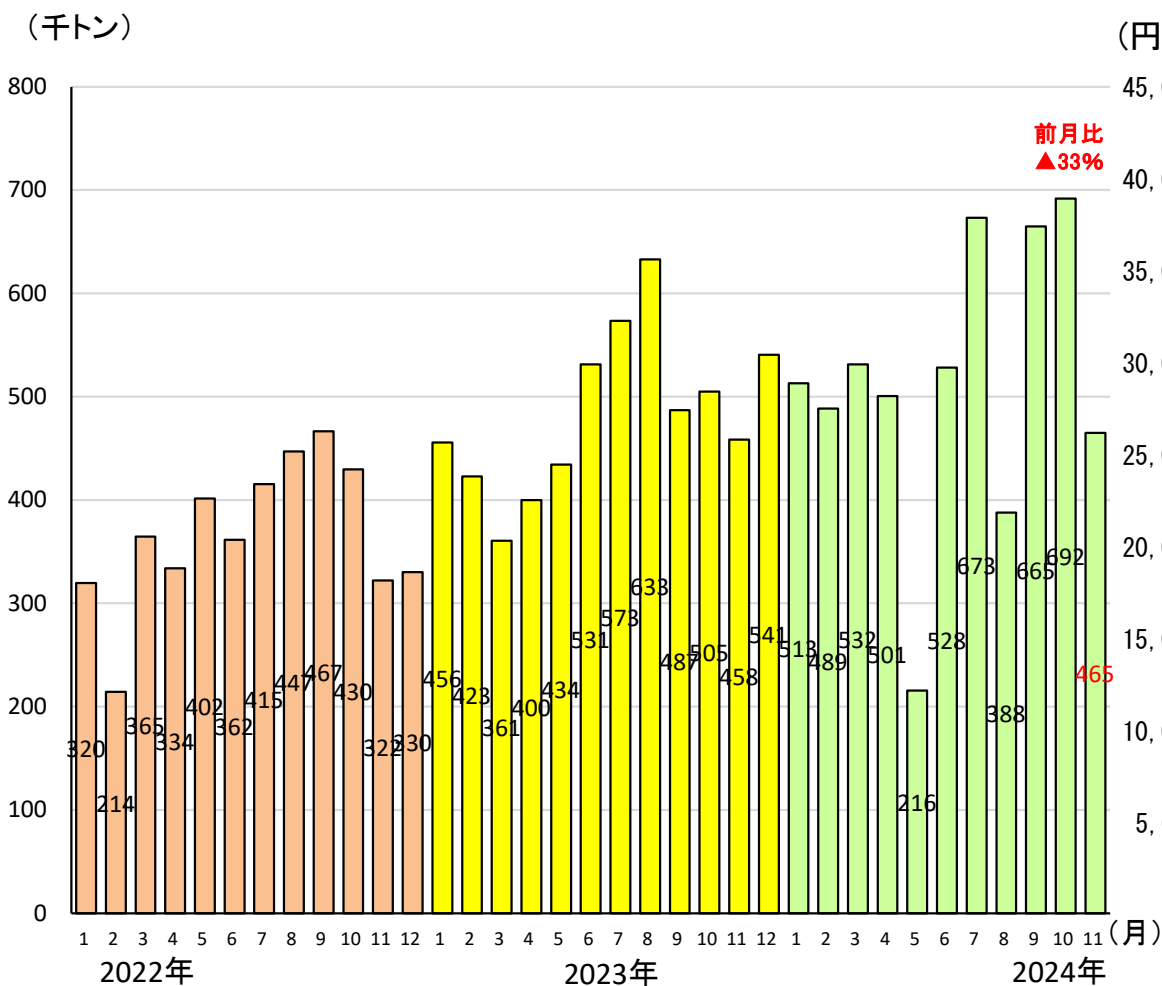
インドネシアからの合板の輸入量



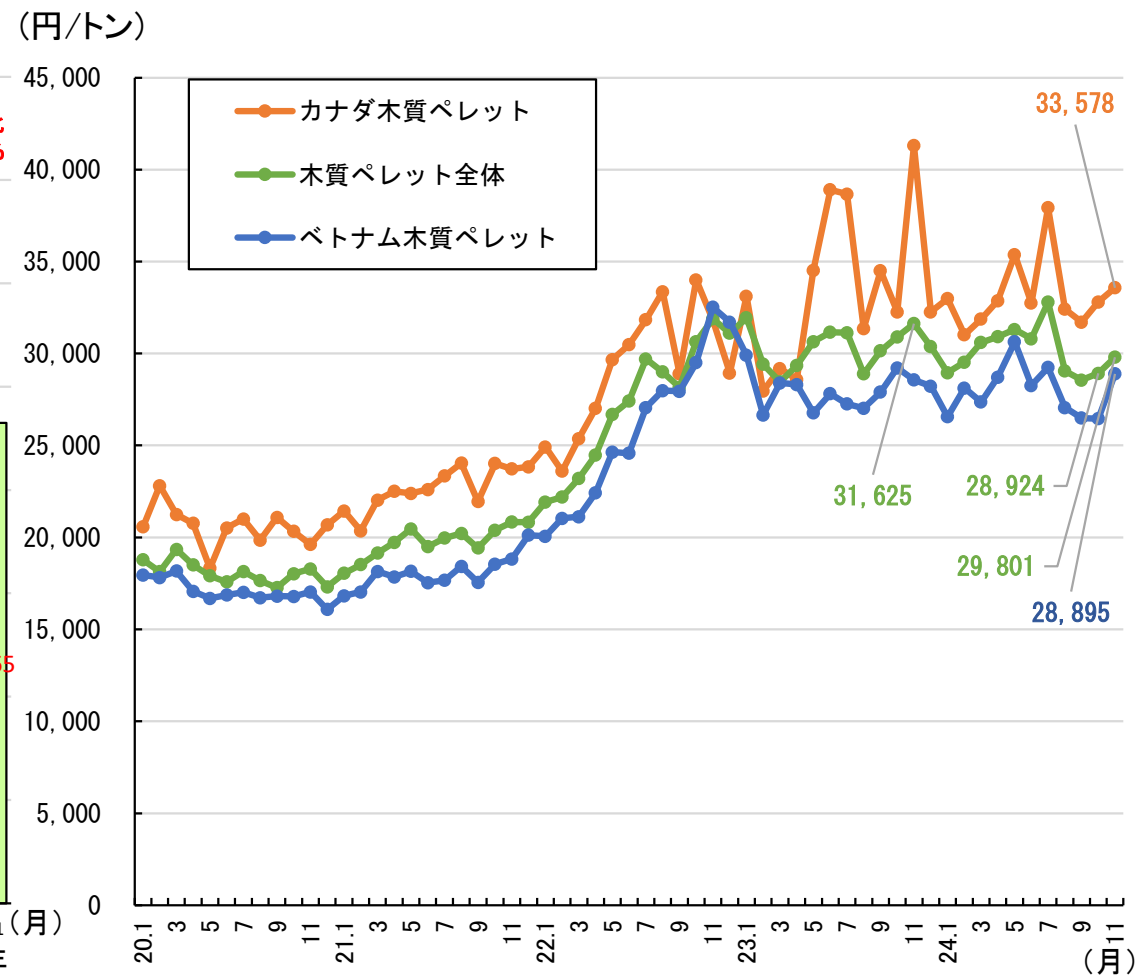
マレーシアからの合板の輸入量

9. 木質ペレットの月別輸入量と価格

- 2024年11月の木質ペレット輸入量は、前月比▲33%減の46.5万トン(前年同月比+1%増)。
- 同月の木質ペレット輸入平均単価は、前月比+3%増の29,801円/トン(前年同月比▲6%減)。



木質ペレットの輸入量

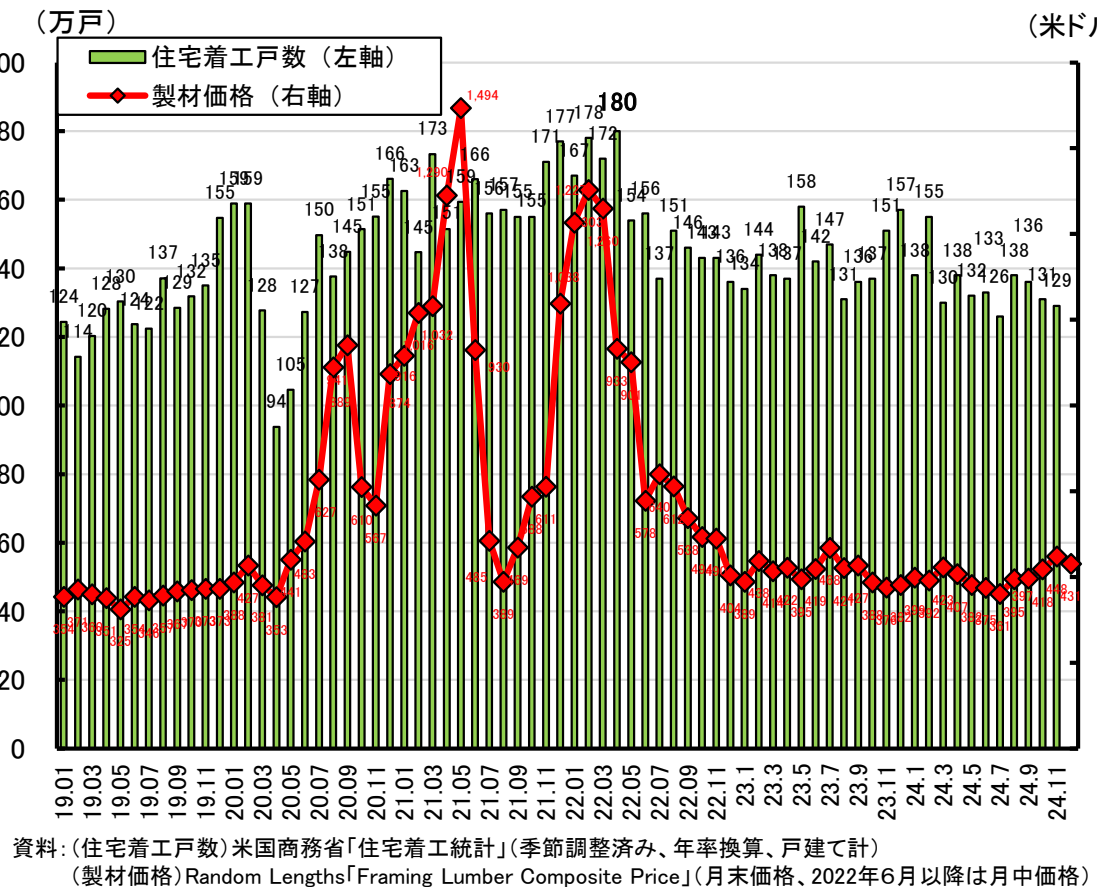


注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

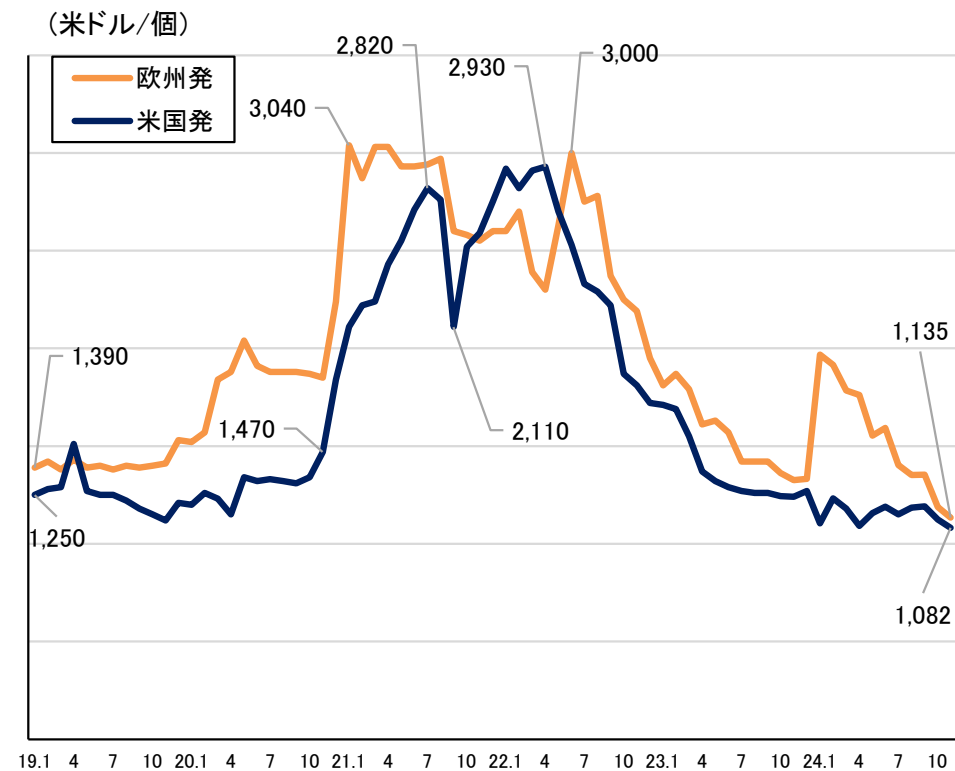
木質ペレットの輸入平均単価

(参考1) 米国における木材価格の動向等

- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130～150万台で推移**。**2024年11月は前月比▲2%減の約129万戸**。
- **北米の木材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2024年12月は431ドル/mbf（前月比▲4%減）**。
- **日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したもの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。しかしながら、2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



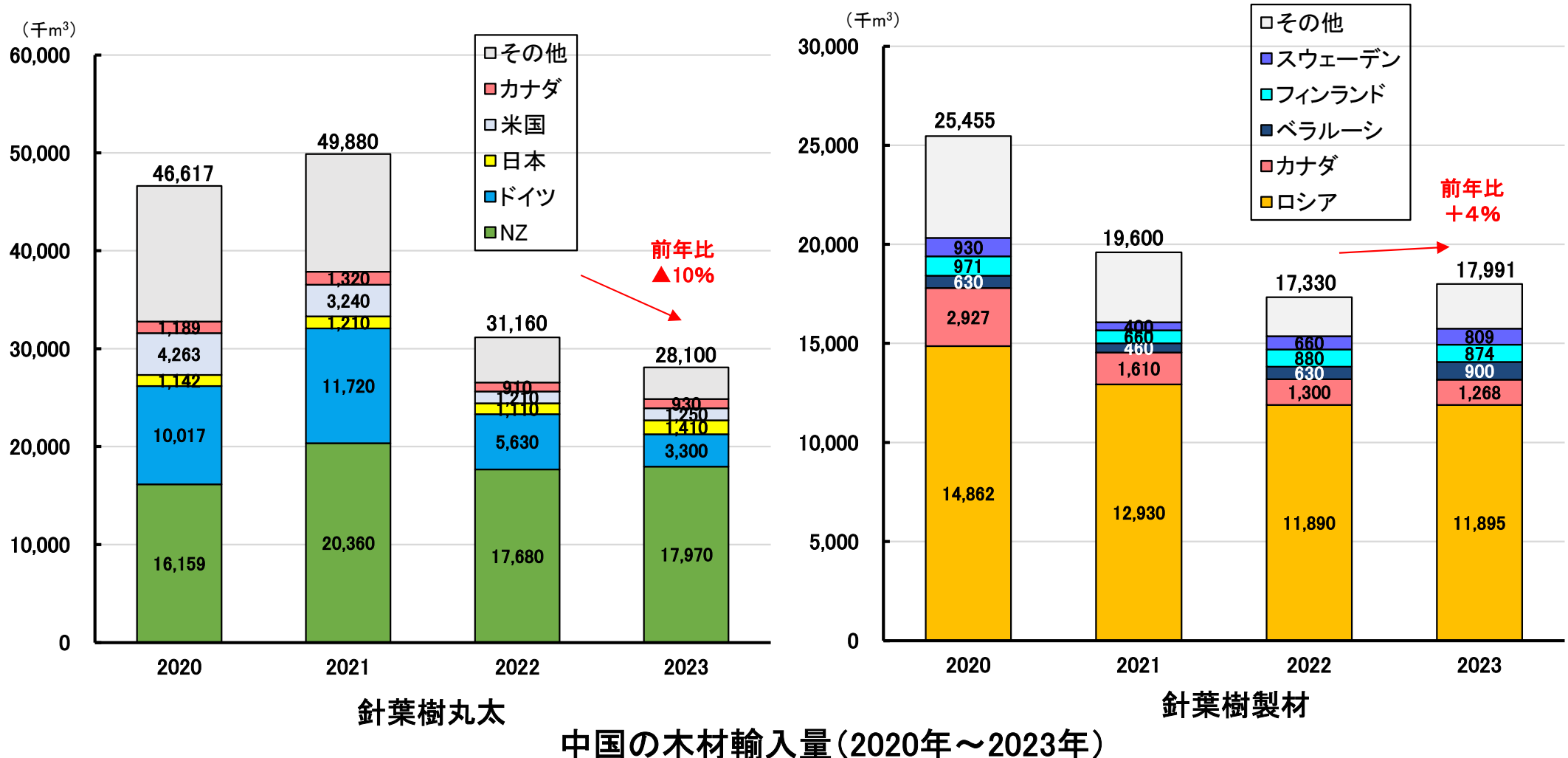
米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



日本向けコンテナ運賃の推移

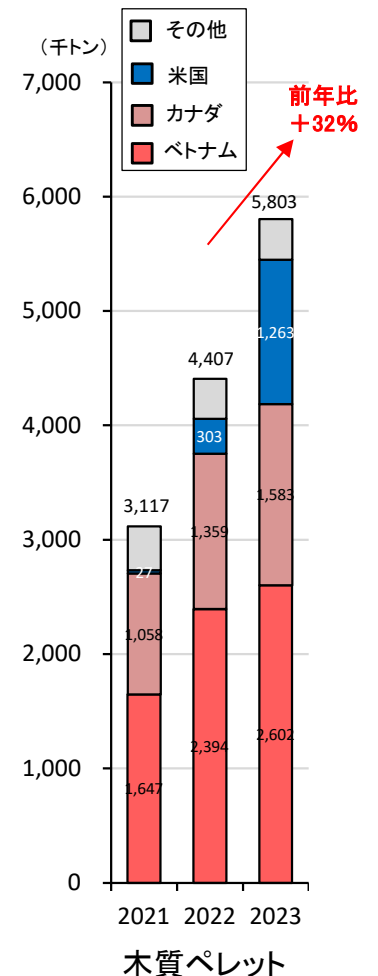
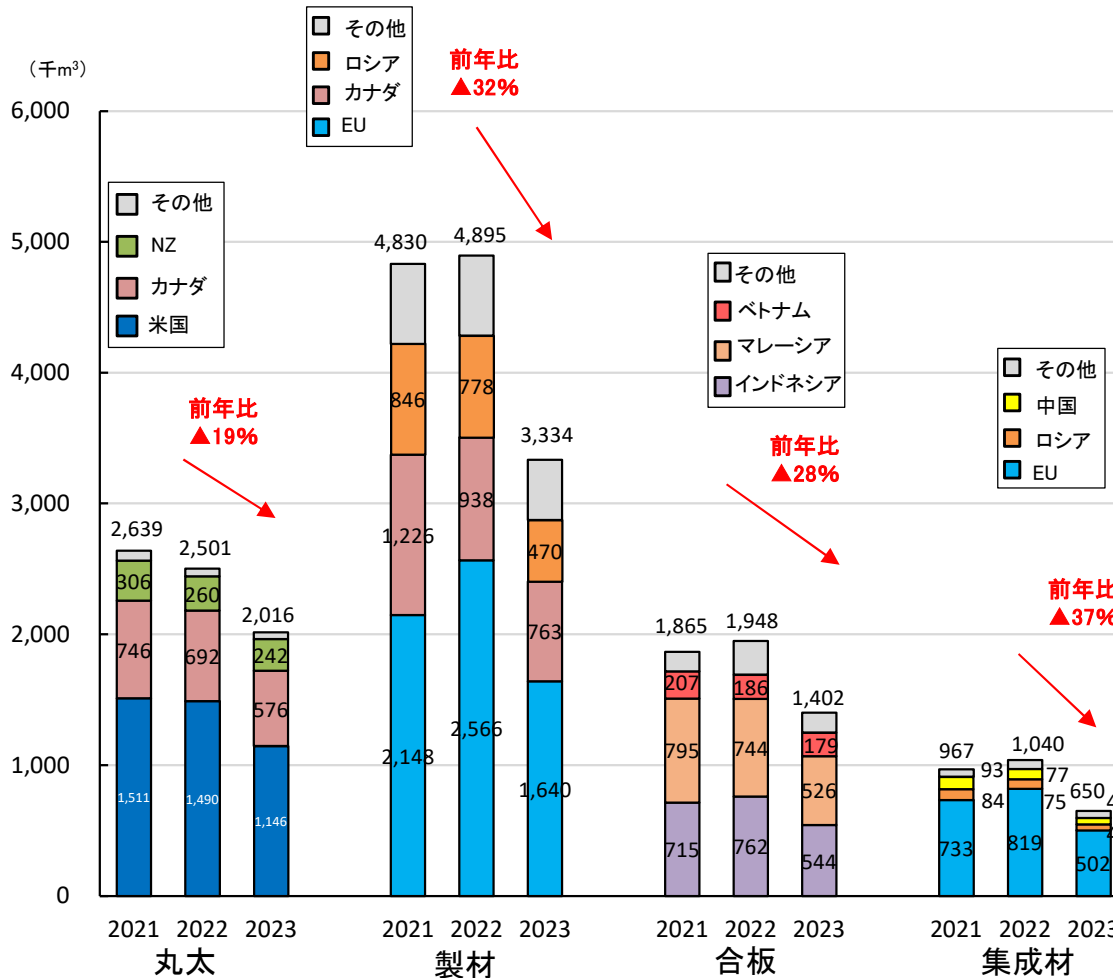
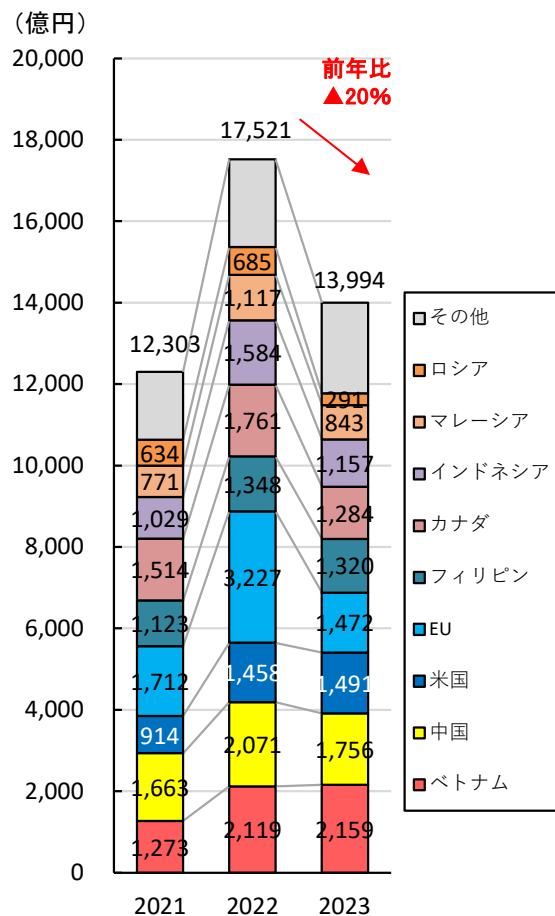
(参考2) 中国における木材需要の動向

- 2023年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比▲10%減の2,810万m³。輸入量第1位はNZ、第2位はドイツ、第3位は日本。ロシアの丸太輸出禁止やドイツの虫害・風倒木の供給減等が影響し、2年連続で輸入量が減少した。
- 同針葉樹製材輸入量は、前年比+4%増の1,799万m³。輸入量第1位はロシア。
- 同経済は、年初にゼロコロナ政策が撤廃された後急速に回復したが、不動産市場の低迷等により年末にかけて再び停滞。



(参考)2023年の木材輸入実績

- 2023年の木材輸入額累計は、前年比▲20%減の1兆3,994億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年比▲19%減、製材が同▲32%減、合板が同▲28%減、集成材が同▲37%減、木質ペレットが同+32%増。
- 2021年との比較では、木材輸入額累計は+13%増。品目別輸入量では、丸太が同▲24%減、製材が同▲31%減、合板が同▲25%減、集成材が同▲33%減、木質ペレットが同+87%増。



資料:財務省「貿易統計」、2023年は確々報値

木材輸入額の推移

(2021～2023年における1～12月累計)

資料:財務省「貿易統計」

品目別木材輸入量の推移
(2021～2023年における1～12月累計)